

Ⅱ 自然ゾーンの管理運営

自然ゾーンの管理運営にあたっては、これまでに検討・策定された管理目標および整備内容に十分留意する必要があるため、以下の引き継ぎ事項を年度当初に関係者で確認する。

1. 自然ゾーンの管理目標 (H27/2015 年度 自然ゾーン計画・運営協議会で検討)

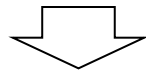
○石川河川公園自然ゾーン管理運営計画 (H11/1999)

- ・自然ゾーンは「身近な自然」である
- ・「自然をつくる」から「自然につくらせる」へ
- ・川に川をつくらせる、川に自然を育てさせる
- ・川の中流域にある自然であることが基本
- ・自然の力に任せ、安く手軽にを目指す
- ・じっくりと時間をかけてつくる

○石川河川公園自然ゾーン整備及び管理運営計画 (H16/2004)

- 1) 石川の自然のシステムに即した再生整備
 - ・川に自然をつくらせる (川の自然営力) = 川によるかく乱
 - ・人が自然の手助けをする (人が川を利用してきた力) = 人によるかく乱
- 2) 人が“使い”ながら“守る”身近な自然
 - ・住民の手で使いながら守るという発想 = 自然ゾーン計画・運営協議会

「目標とする植生配分」 ツルヨシ、オギ・セイタカヨシ草地、チガヤ草地、エノキ林等



○今後の管理運営の目標

- 1) 本流に近づくほど自然度が高い
＜具体的な方法＞
 - ・より本流に近い側の管理は、できるだけ自然の力にまかせる。
 - ・より堤防に近い側の管理は、公園利用のあり方に配慮する。
- 2) 川の自然営力（増水によるかく乱など）を助ける管理を行う。
＜具体的な方法＞
 - ・河川敷の樹木は原則伐採する。
(ただし利用度の高い箇所では緑陰樹として残す。)
 - ・クズの繁茂を除草の工夫などにより抑制する。
 - ・外来種草本を抑制し在来種を育成する管理を行う。
 - ・竹林は、生育箇所ごとに管理方法を検討する。
- 3) 自然ゾーンの上下流をつなぐグリーンベルトを創出する。
＜具体的な方法＞
 - ・本流沿いにチガヤ、オギ、セイタカヨシ等の自然草地を育成する。

2. 自然ゾーンの整備概要

石川河川公園自然ゾーンは、H6（1994）年頃からはじまる市民団体との話し合いから、現在の「自然ゾーン計画・運営協議会（H17/2005～）」に至るまで、市民と行政との協働によって公園整備が進められてきた（約 1.6 km、41.3ha）。その成果として、河南橋～喜志大橋までの自然ゾーン区間は、市民からの要望にもとづき、新たな低水路護岸を設置せず、一部に残る古い護岸以外は、できるかぎり自然の水際を優先して川の営みを再生する場として位置付けられた。

その後、H14（2002）年に A 地区が整備されて以来、自然ゾーンおよび周辺区域で、以下のようなさまざまな自然保護・復元の試みが展開されている（河川敷の起伏、隠し護岸、再生水路、人工ワンド、竹林管理、クズ除草、自然草地再生、越流堤、希少動植物の保護 など）。

<参考文献> 石川河川公園「自然ゾーン」ワークショップ運営委託 報告書（H13/2001 年 3 月）
石川河川公園 自然ゾーン整備及び管理運営計画検討委託 報告書（H16/2004）年 2 月）

<各地区の整備経過および管理作業>

参照：自然ゾーンの整備概要・課題図

● A 地区 全体方針：生きもののためのサンクチュアリーとしての利用

A-1 H14（2002）湿地や水辺の創出

- ・かつての水路の復元（増水時に梅川から流入させる）
- ・伏流水や農業排水路の活用、河川敷の凹凸化、一部掘り下げ、池（凹地）の造成など

A-2 H14（2002）隠し護岸の設置

- ・水路復元や流入部造成にともなう治水面の安全性確保（増水時に本堤防を保護）
- R3（2021）周辺の大木を伐採、巡視車通行のための園路整備（碎石敷設）

A-3 H23（2011）～ カヤネズミ保護草地① オギ移植、低茎（一年）草地の創出

→ 管理作業：クズ・雑草除去、営巣調査 など

R7（2025）観察路をつくり営巣環境を改善、エノコログサ播種、チガヤ移植

A-4 H26（2014）イノシシ防護柵を 2 ヶ所設置（イノシシ出没時に閉鎖、立入禁止とする）

H29（2017）台風 21 号でカヤネズミ保護草地が浸水、イノシシ防護柵が倒壊

R4（2022）～自動撮影カメラの設置

● B 地区 全体方針：堤防下の園路は舗装しない。梅川合流部の本流側は自然の遷移にまかせる。

B-1 H7（1995）人工ワンドを造成（河川担当部局）

- ・造成後に本流側の護岸を一部切下げ（フラッシュを起こさせるため）
- H30（2018）現況調査：ワンド内は陸化し中央に流路ができています。
- R2（2020）魚類調査：ワンド、二ツ池、梅川合流部で計 14 種の生き物を確認
- R3（2021）～R5（2023）カワバタモロコの放流試験

B-2 R1（2019）～ 希少種タコノアシの保全（2003 年以来の再記録）

→ 管理作業：除草、かく乱、水路整備 など

B-3 H17（2005）河南橋下流部の広場、散策路の整備

- ・散策路は舗装せず、巡視車の踏圧で草の繁茂を抑制する。

H26 (2014) アキニレ等の低木群を重機で根ごと引き抜いて除去 (大木は伐採)。

R3 (2021) 大木伐採および園路整備 (2 ルート・未舗装・碎石敷設)

B-4 H23 (2011) 自然草地・広場整備 <梅川合流部 (剣先部) の広場>

・円形広場内にチガヤを移植、周囲のオギ草地は整備後に自然再生した。

R6 (2024) カヤネズミ保護草地② 観察路をつくりカヤネズミの営巣環境を改善

→ 管理作業：クズ・雑草除去、オギ草地内の観察路の除草 など

B-5 R2 (2020) タコノアシなどの自然観察路を整備 (定期除草、水路の橋 2 ヶ所など)。

R3 (2021) 案内サイン 3 箇所の設置

R7 (2025) タコノアシ湿地に水を引き込む水路をつくる、冬季の除草・かく乱

B-6 R5 (2023) ニツ池 (自然にできた池)：タコノアシ、カワヂシャ等の保全

→ 管理作業：オオカワヂシャの抜き取り など

● C地区 (未開設区域) 全体方針：現況の樹林は河畔林として保全する。

竹林の適正管理を行う (間伐、筍取り等による密度管理など)。

C-1 H15 (2003) ~23 (2011) 竹林管理

・自然ゾーン協議会と協働でボランティアで実施

H25 (2013) 竹林伐採と抜根、水路内撤去土砂で埋め戻し (羽曳野市)

・自然ゾーン協議会への事前相談なく工事を実施したことが問題となった。

C-2 H23 (2011) 大黒用水路の越流堤の整備

・自然ゾーン協議会で検討・提案して防災工事を実施 (河川担当部局)

・整備前は増水時に下流側樹林が障壁になりサイクリングロードに水が流入していた。

・整備後、増水時の越流により自然の水辺となっている。

C-3 H24 (2012) ~ 指定管理者による除草管理を開始

・未開設区域のため除草回数が少なく地元要望を自然ゾーン協議会を通じて調整した。

● D地区 全体方針：農業用水路 (通称ミニ石川) を活用し、水路沿いは生き物の生息空間とする。
フラッシュの起こりやすい地形を創出して、河川本来の水辺環境をつくる。

D-1 H7 (1995) ~10 (1998) 木工沈床を河南橋下流部の低水路護岸に設置

・一部覆土、一部にネコヤナギが植栽されたが翌年にはすべて枯死した。

D-2 H12 (2000) ~ ミゾコウジュ自生地の保全 (ボランティアの手作業のみ)

H30 (2018) ~ 重機によるかく乱を実施、ボランティアの手作業と組み合わせて管理

→ 管理作業：クズ・雑草除去、かく乱、開花確認、種子採取 など

D-3 H15 (2003) ミニ石川周辺の園地、園路等の整備

・水路沿いは増水時の浸水エリアとし、高茎草地やヤブは野鳥の隠れ家として残す。

H30,R1 (2018,19) 水路まわりのゴミ清掃、柵や水路を覆っていたツルなどを除去

R3 (2021) 希少種調査：ミニ石川沿いの水辺にカワヂシャが分布

D-4 H18 (2006) フラッシュを起こすための切下げ整備

・本流沿いの河川敷の高低差を切り下げてなだらかにし、増水時の流入をうながす。

(整備後に地元住民から、過去に洪水を防ぐために高くした、との意見あり)

- D-5** H23（2011）～25（2013）クズ抑制試験（除草、水路掘削土砂の敷きならし等）
R3（2021）～ 神社用オギ草地（茅の輪の材料）を育成するためオギを移植
→ 管理作業：クズ・雑草除去、オギ移植 など

●バッファゾーン および上下流（自然ゾーン外）

全体方針：自然ゾーンからの移行帯として、自然環境の極端な変化を避ける。

上下流をつなぐ自然草地の緑地帯（グリーンベルト）を育成・創出する。

G-1 グリーンベルト① <はびきの大橋～大黒橋の右岸 A地区下流部>

- ・本流側に約5m幅の草地を带状に残し、除草は行わない。

G-2 グリーンベルト② <喜志大橋～河南橋の左岸 D地区上流部>

H18（2006）除草せず自然遷移にまかせるエリア（設計時の方針）

- ・公園管理内容としては年1回の除草範囲となっている（是正の必要あり）。

G-3 グリーンベルト③ 喜志大橋上流 左岸「千早つどいの広場」

- ・H23（2011）～ 緑地帯として高茎草地を育成するため除草時に刈り残している。
- ・対岸のグラウンド整備で失われた緑地を補完する機能をもつ。

G-4 カヤネズミ保護草地③ <喜志大橋 右岸広場>

- 管理作業：クズ・雑草除去、営巣調査 など

H23（2011）自然草地の整備

- ・自然草地を再生するためチガヤ・オギ・セイタカヨシを移植、その後オギ原が定着。

H30（2018）オギ再移植

- ・喜志大橋の耐震工事でオギが一部消失（自然草地整備の経緯が引き継がれず）。
- ・その後の協議で残ったオギを工事終了後（5月）に再移植。カヤネズミ営巣を初確認。

R5（2023）オギ草地のクズ抑制（根茎除去、ツル取り）

<自然ゾーン 年間作業 基本スケジュール ※>

※各作業は、毎年の現地状況にあわせて、実施するかどうか判断

対象地			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
カヤネズミ草 （オギ育成地）	A-3	機械			周囲・観察路 除草(調査前)					周囲・観察路 除草(調査前)		全面除草	クズ根 掘取り	
	G-4	人力	植生観察	クズ・雑草 除去	営巣調査				出穂確認		営巣調査		クズ根 マーキング	
	B-4	機械	観察路除草(園路と同時に実施)								営巣調査	全面除草		
低 茎 草 地	A-3	機械										多年草根茎の除去、掘下げ 移植チガヤの掘取り・養生		
		人力	植生観察	雑草除去	移植チガヤ 確認				エコロサ等 播種					チガヤ移植
タコノアシ ・ニッポ 池	B-2	機械		観察路除草 (イベント前)						観察路除草 (イベント前)	刈払機除草 (タコノアシ湿地)			
	B-6	人力		植生観察	アレチウリ オカワヂヤ 抜き取り?			開花確認		花穂の確認		攪乱・水路整備 (タコノアシ湿地)		
神 社 オ ギ 育 成 地	D-5	機械										オギ移植地の 除草、クズ根掘取り 移植用オギの掘取り		
		人力		クズ・雑草 除去	オギ刈取り (神社)			神社の 協力作業	出穂確認					オギ植付け
ミ ゾ コ ウ ジ ュ 自 生 地	D-2	機械										除草・攪乱		
		人力		クズ・雑草 除去	開花確認 種取り・播種					ロゼット確認 クズ・雑草除去				
駒ヶ谷地区 修景池				カワヂヤ 開花確認 (移植)	ミゾコウジュ 開花確認 雑草除去			タコノアシ 開花確認		タコノアシ 花穂確認	ミゾコウジュ ロゼット確認		導入植物 移植	
イベント				植物観察会	緑の少年団					植物観察会	リースづくり		野鳥フェア	

3. 管理・整備の課題

自然ゾーンでは河川の自然環境に順応した管理が求められ、また面積も広いことから、通常の公園予算では対応が困難な管理・整備も必要とされている。一方、河川敷では防災や利水機能の維持、施設の安全管理などの工事も実施されることから、それらの機会にあわせて問題解決を図る工夫を行いたい。特に近年課題となっているのは以下のような箇所である。

1) 河川敷の高木伐採 (A 地区復元水路沿い、B 地区河南橋右岸下流 など)

本来の川の自然としては、毎年の洪水・増水により河川敷に高木が育つことは少なく河原草原が形成される。洪水時の災害防止の観点からも、河川敷の高木は伐採することが望ましい。

- ＜留意点＞ ・本流側の樹木伐採を優先し、園路沿いは緑陰樹の機能を考慮する。
・樹木伐採後の管理方法についての検討を行う。

2) 農業用水の浚渫土の処理 (C 地区大黒用水、D 地区古市用水)

自然ゾーン内の農業用水路を浚渫した土砂が1～2mの高さの土手となっている。周囲の自然環境や公園の景観を損なうこともあり、土砂の撤去もしくは有効利用を行いたい。

- ＜留意点＞ ・地元の水利組合と十分な調整が必要である。
・敷きならし等に利用する場合は自然環境への影響（効果）を検討する。

3) 広範囲に繁茂したクズの除去 (A～D 地区 全域)

除草管理の対象外になっている広範囲の箇所でクズが大繁茂し、本来の河川敷の自然環境や景観が損なわれている。周辺工事などの機会にできるだけ除去の工夫が求められる。

- ＜留意点＞ ・上部の刈り取りだけでは抑制効果が薄く、根茎の掘り出しが望ましい。
・クズを除去した後の整備や管理について検討が必要である。

4) 河道掘削工事等の際の事前調査 (A～D 地区 全域の河川敷)

梅川の河道掘削工事 (R2/2020) で大型重機で広範囲の土砂を取り除いたため、水辺の生き物の生息地が破壊された。同様な工事の際には事前の生き物調査等の実施が求められる。

- ＜留意点＞ ・工事前に生物調査を行い、場合によっては生き物の捕獲と一時避難を実施。
・A地区の復元水路や河川敷の草原への影響を検討する。

5) 本流からのフラッシュ整備 (A 地区 梅川からの流入水路、B 地区 もと人工ワンド)

① 梅川からの流入フラッシュが少なく設計で目指した水辺環境が創出されていない。

- ＜留意点＞ ・流入部の切下げ、泥上げ、水路断面を緩やかにするなど環境を多様化する。
・通路（土舗装）の整備など水路周辺に寄りやすくして調査を行う。

② 人工ワンドへの流入が少なく、タコノアシ自生地等のフラッシュが起こらない。

- ＜留意点＞ ・流入部を下げる、ワンド上端付近の湧水を活用する（掘削する？）。
・水路や周辺水辺のかく乱で人工的なフラッシュ整備を行う。

6) 梅川を渡る飛び石の整備 (A～B 地区)

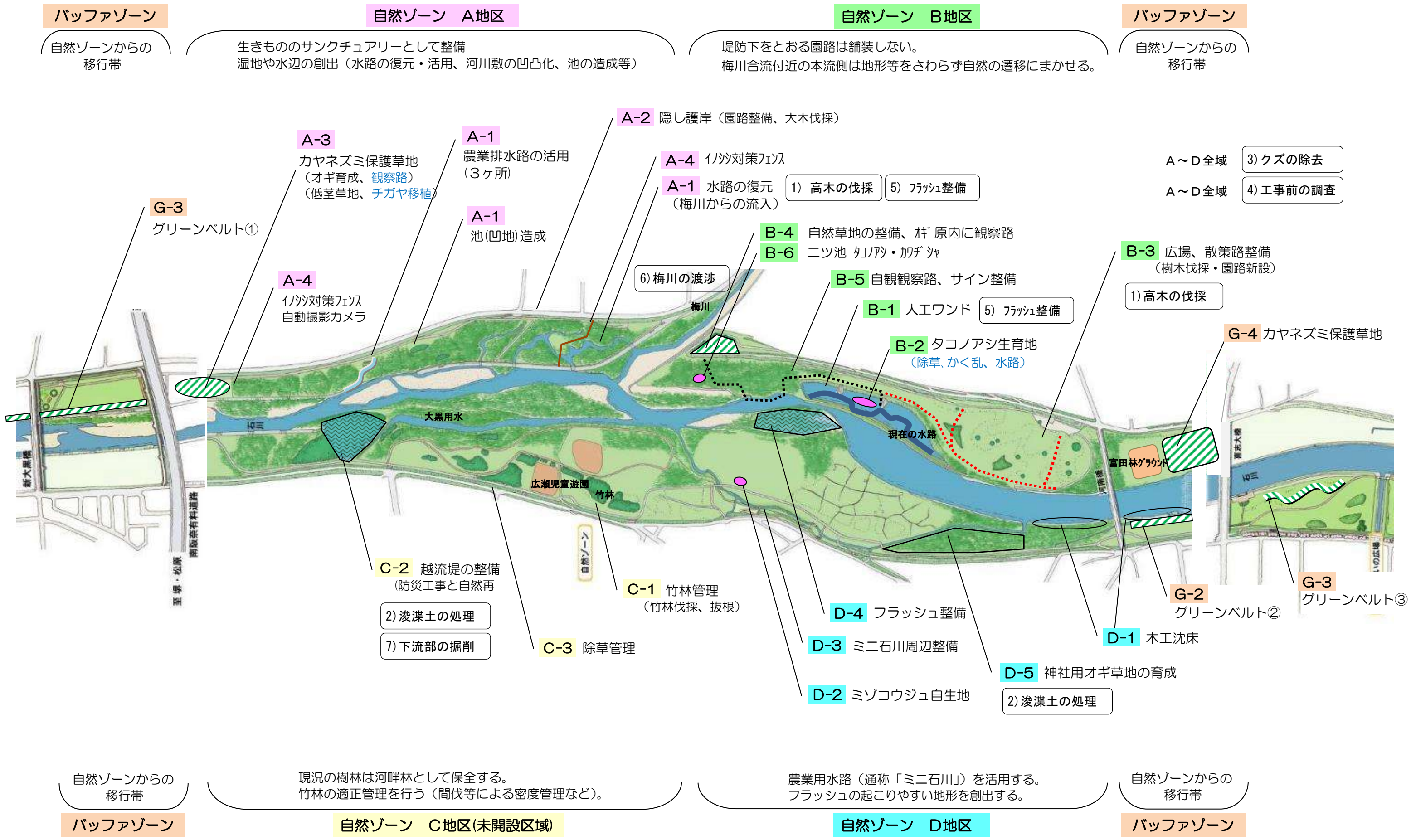
梅川を渡れないためA～B地区間の移動は一般道路を大きく迂回する必要がある。

- ＜留意点＞ ・渇水時のみ渡れる飛び石を、梅川の川床に設置する。
・A地区南端の園路終点から梅川に下りられる園路を整備する。

7) 越流堤下流部の掘削 (C 地区)

2011年に河川内の樹木や土砂を撤去したが、再び土砂が堆積し防災面で留意が必要。

- ＜留意点＞ ・堆積している土砂を撤去して、越流水をスムーズに本流へ返すようにする。
・大黒用水路内の堆積土砂の撤去も必要（水利組合との調整要）。



4. 石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム

(1) プラットフォームの概要

本マニュアルに記載されている自然ゾーンの自然環境保全および管理の内容は、「石川河川公園自然ゾーン計画・運営協議会」で長年、検討されてきたものである。当協議会は、石川河川公園自然ゾーンの「河川らしい自然環境の復活」を府民と行政が協働で具現化するため、お互いの情報を共有しながら建設的な意見交換を行い、自然ゾーンの計画・運営・管理に関する協議、提案を行うことを目的として（協議会会則より抜粋）、平成 17（2005）年に設置された。

協議会は、令和 4（2022）年に改編が行われ、令和 5（2023）年 4 月に「石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム」として新発足した。

石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム

- | | |
|--------|---|
| ＜運営会議＞ | ・年 2 回程度、開催する。その他、必要に応じて臨時に開催する。
・毎年 1 回、自然ゾーンの状況確認のための現地視察を行う。
・公園管理の情報共有、自然環境保全の検討、マニュアルの改訂などについて、協議・調整・検討・提案を行う。 |
| ＜報告会＞ | ・年 1 回程度、開催する。 |

(2) 本マニュアルの更新

本マニュアルは、希少種（カヤネズミ、ミゾコウジュなど）の状況や生息・生育地の管理内容、新しく実施した試験管理の結果などを踏まえて毎年の更新を行う。更新の内容については、「石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム」の運営会議において検討および確認し、会議の議事録を資料として収録する。

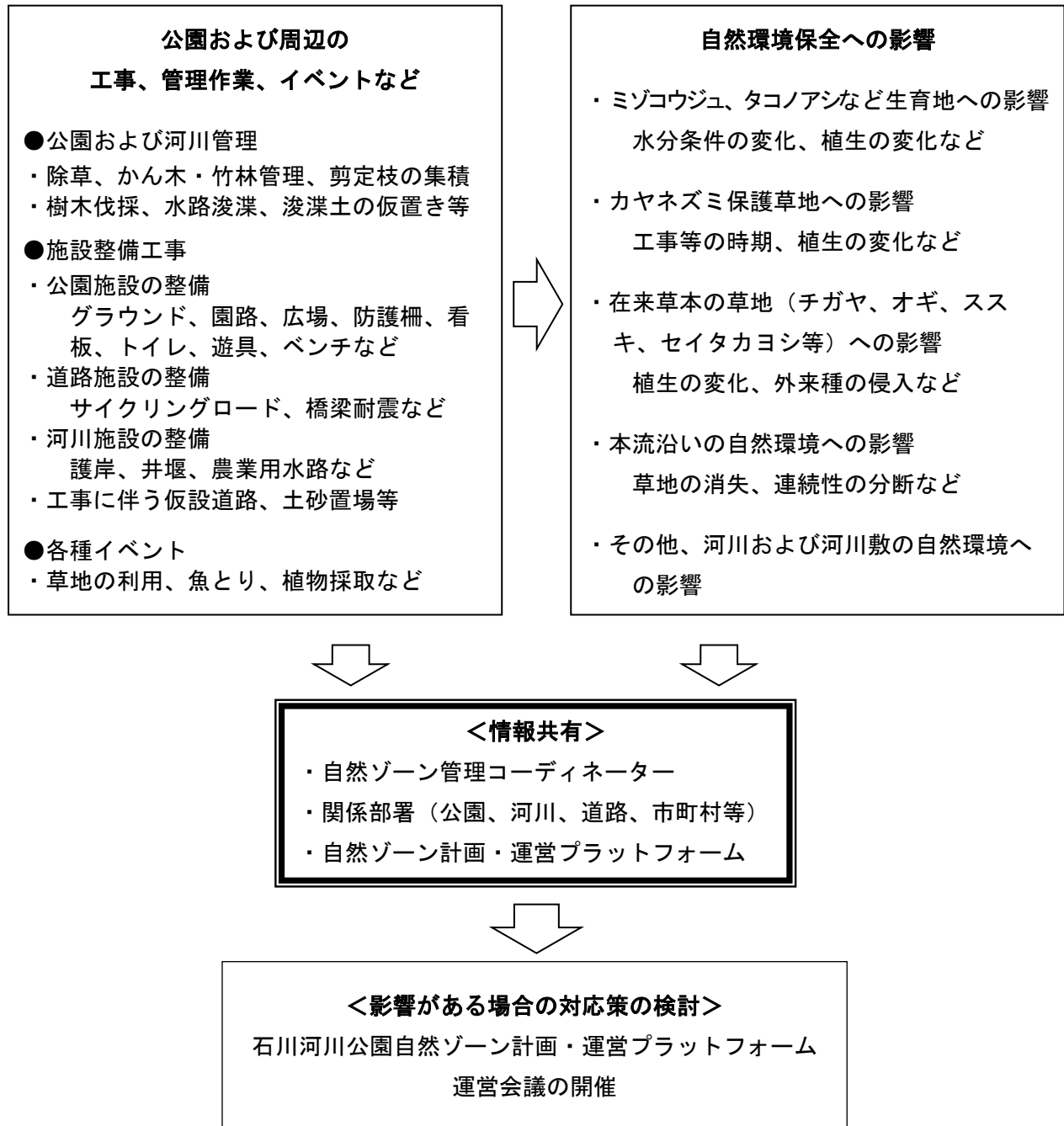
更新が必要な主な項目

- ・カヤネズミ、ミゾコウジュなど希少種の生息・生育地の管理内容
- ・ 〃 〃 〃 の調査記録（営巣、開花など）
- ・市民参加イベント、CSR 活動等の実施概要
- ・今後の整備・管理の方向性
- ・石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム関連情報（開催状況、議事録等）
- ・自然ゾーンの管理に関する引き継ぎ事項（新たな整備、取組み等）

(3) 自然環境保全の情報共有

通常の公園管理の情報共有とあわせて、公園周辺で行われる工事や管理作業、イベントなどの予定がある際は、関係部署（公園、河川、道路、市町村等）および「自然ゾーン管理コーディネーター」と情報を共有し、自然環境保全への影響があると考えられる場合は、運営会議や専門部会を開催して対応策を検討する。

なお、工事や管理作業などが行われる際は、エコアップのチャンスととらえて、より自然環境の質が向上するように具体的な手法を提案することが重要である。



(4) 協議会の会則、構成員

会則の令和 8 年 05 月 19 日改定について、次年度に自然共生サイトの「生物多様性保全推進交付金」を申請予定のため、その際に求められる「会計」の条項を第 5 条および第 6 条に追加した。

●石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム 会則

(名 称)

第 1 条 本会は石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム（以下「会」という。）と称する。

(目 的)

第 2 条 貴重な地域共有の財産である石川河川公園自然ゾーン（以下「自然ゾーン」という。）の「河川らしい自然環境の復活」を府民と行政が協働で具現化するため、お互いの情報を共有しながら、建設的な意見交換を行い、自然ゾーンの計画・運営・管理に関する協議、提案を行うことを目的とする。

2 また、上記で提案した計画・運営・管理を実現するため、自然ゾーンの整備計画、運営管理等に基づく自主活動プログラムを実施する。

3 府民や公園ボランティア等が実施する自主活動に関する協議、調整を行う。

(活動内容)

第 3 条 本会は前条の目的を達成するため、主に自然ゾーンを拠点にして次の活動を行う。

(1) 『石川河川公園「自然ゾーン」管理運営計画』及び『石川河川公園自然ゾーン整備及び管理計画』で提案された事項を基本にしながら、自然ゾーンの整備計画、管理運営に関する手法や役割分担等について、府民と行政が協議・提案を行う。

(2) 自然ゾーンの整備計画、運営管理等について、府民と行政が協議、提案を行うために必要な情報について相互に公開、共有する。

(3) 自然ゾーンの整備計画、運営管理等に基づく自主活動プログラムの企画・提案・実施を行う。

(4) 自然ゾーンにおいて府民や公園ボランティア等の団体が実施する自主活動に対して、活動の目的や趣旨、内容等を協議・調整する。

(5) その他、会の目的に合致した活動を行う。

(構 成)

第 4 条 本会は運営会議とサポーターで構成する。

2 運営会議は以下に掲げるものによって構成する。

(1) 事務局・・・大阪府富田林土木事務所・石川河川公園指定管理者

(2) コーディネーター・・・会の運営、意見調整等を円滑に進めるための人員

(3) 専門アドバイザー・・・学識者等

3 サポーターは、本会の活動内容（第 3 条）について支援・協力を行い、以下に掲げるものによって構成し、運営会議に出席することができる。

(1) 市町村、地域

(2) 地域の学校等

(3) 自然関連団体

- 4 検討課題に応じてサポーターを追加・変更することができる。

(運営会議)

第5条 運営会議は、年2回程度開催する。なお、構成員の要請により事務局が招集するとともに、必要がある場合には臨時の運営会議を開催することができる。

- 2 運営会議においては、次の事項について協議を行う。

- (1) 自然ゾーンの計画・運営・管理に関する事項。
- (2) 自然ゾーンの利用調整に関する事項。
- (3) 活動プログラムの企画・提案・活動内容に関する事項。
- (4) 広報、啓発活動に関する事項。
- (5) 会計(予算及び決算を含む)に関する事項。
- (6) その他、本会の活動に関する重要な事項。

- 3 運営会議に構成員以外の者の出席を求めることができる。

- 4 運営会議の協議事項についての報告会を、年1回程度開催する。

(事務局)

第6条 会に係る連絡調整を円滑に進めるため、事務局を大阪府富田林土木事務所及び公園の管理業務を行わせるため大阪府が指定する石川河川公園指定管理者に置く。

2 事務局の会計は、石川河川公園指定管理者が担当する。

(要 綱)

第7条 この会則に定めるもののほか、必要な事項については、運営会議の承認を得て要綱で定めることができる。

付 則

この会則は平成17年09月21日から施行する。

この会則は平成18年04月01日に改定。

平成21年04月01日に改定。

この会則は平成23年04月01日に改定。

平成24年06月25日に改定。

平成26年06月17日に改定。

平成30年07月12日に改定。

令和5年04月01日に改定。

令和6年03月08日に改定。

令和6年07月29日に改定。

令和8年05月19日に改定。

●プラットフォーム構成メンバー表

<運営会議>

事務局	大阪府富田林土木事務所	都市みどり課
	石川河川公園指定管理者	都市公園石川河川公園管理共同体 （「石川自然クラブ」活動実施※）
コーディネーター	石川河川公園管理事務所	寺川 裕子
専門アドバイザー	大阪産業大学 建築・環境 デザイン学部 教授	川口 将武
	富田林の自然を守る会	田淵 武夫

<サポーター>

登録順

大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻
公益社団法人 大阪自然環境保全協会 理事会
特定非営利活動法人 里山倶楽部
日本野鳥の会 大阪支部
認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター

その他 サポーター候補

- ・地域の小中高校、大学、博物館等
- ・自然関連団体
- ・自治会、神社、企業等
- ・ボランティア団体
- ・みどり、観光、まちづくり、市民協働の推進に関わる、大阪府および周辺市町村の部署
- ・その他、自然ゾーンに関わる団体

※「石川自然クラブ」の経緯

- 2003～ 「自然ゾーンワークショップ（府主催 1999～2003）」終了後に任意団体として発足
府民ボランティアによる自然環境保全活動を実施
- 2005～ 「自然ゾーン計画・運営協議会」に NPO の委員として参加
- 2022～ 任意団体の解散後、活動内容を指定管理者の事業として引き継ぐ
以降、指定管理者が府民のボランティアを募集して毎月の活動を実施

●サポーター登録票

石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム

サポーター登録票

登録日	年 月 日
団体名	
団体住所	
担当者	氏 名
連絡先	電話番号 メールアドレス
石川河川公園での 主な活動内容	
備 考	

※記載内容に変更があるときはお知らせください。

以上 確認しました。

プラットフォーム事務局
都市公園 石川河川公園 管理共同体
所長 富永 真史

●協議会の経緯

<協議会発足までの経緯 S61 (1986) ~H16 (2004) >

年度	石川河川公園 自然ゾーン計画・運営協議会の経緯
S61 年 (1986)	大阪府が「石川あすかプラン」を策定 石川河川敷を都市公園として整備する計画
H3 年 (1991)	「石川河川公園基本計画」を策定 「石川あすかプラン」を基に5つのゾーニングを行う
H6 年 (1994)	自然保護団体3団体から構成された「石川あすかプランを考える会」が発足し、「あすかプラン」見直しの要望書が大阪府知事宛てで提出される。(富田林の自然を守る会、富田林の自然に親しむ会、南河内水と緑の会) 石川河川公園 自然ゾーンに「管理運営委員会」を設立し公園運営・植生管理・現地植生実験・イベント・自然観察を行いたい要望が示された。
H6 年 ~10 年	この間、富田林土木事務所、南部公園事務所、「考える会」で話しあいが行われる
H10 年 (1998)	自然保護団体、学識者も含めた「自然管理運営計画検討会」が設置される。石川河川公園の整備~管理運営までの基本方針を検討した。
H11 年 ~15 年	地元学校、自治会にも本活動を広く認知してもらい、幅広い意見を提言し関心を持ってもらうため、イベントを含めたワークショップを開催した。
H15 年 (2003)	より具体的な整備及び管理運営計画の話し合いを持つようになる。 ワークショップの活動内容を引き継いだ「石川自然クラブ」が発足。
H16 年 (2004)	この府民協働型ワークショップが、継続的に且つより確固たる組織となるようにするため、現在の協議会の基本となる関係市(行政)も取り入れた「石川河川公園 自然ゾーン計画・運営準備協議会」を設立

<協議会の開催状況 H17 (2005) ~H23 (2011) >

年度	協議会	運営 会議	専門 部会	イベント等	主な検討内容	管理者
H17 年 (2005)	3 回	6 回	-	-	・A, B 地区サイン設計 ・D 地区実施設計	公園協会
H18 年 (2006)	3 回	5 回	-	マップ 座談会	・D 地区のサイン設計 ・D 地区実施設計	公園協会
H19 年 (2007)	3 回	7 回	-	竹林伐採	・C 地区の課題整理 ・C 地区ゾーニング案	公園協会
H20 年 (2008)	3 回	10 回	-	竹林伐採	・C 地区素案づくり ・A 地区植生調査	公園協会
(H21.3 C 地区事業認可見送り)						
H21 年 (2009)	1 回	2 回	4 回	竹林伐採	・C 地区整備計画 ・B 地区実施設計	公園協会
(協議会の運営予算ゼロ)						
H22 年 (2010)	1 回	2 回	10 回	竹林伐採	・大黒水路の溢水対策 ・植生管理の検討 (イノシシ出没)	e 公園ネット
H23 年 (2011)	0 回 H24.6 開催	1 回	2 回	-	・B 地区実施設計 ・植生管理の検討	e 公園ネット
(H23 末 事業認可終了)						

<協議会の開催状況 H24（2012）～R5（2023）>

年度	協議会	運営会議	専門部会	その他	主な検討内容	管理者
H24 年度 (2012)	1 回	1 回	-	-	・植生管理の検討 ・竹林間伐中止（イシジ出沒）	e 公園ネット
H25 年度 (2013)	0 回	0 回	-	-	(事務局打合せ 2 回)	指定管理 グループ
H26 年度 (2014)	1 回	3 回	-	-	植生管理の検討	指定管理 グループ
H27 年度 (2015)	1 回	0 回	-	-	C 地区の管理目標	指定管理 グループ
H28 年度 (2016)	0 回	0 回	1 回	-	希少生物保護マニュアル検討	指定管理 グループ
H29 年度 (2017)	0 回	1 回	1 回	-	希少生物保護マニュアル検討	指定管理 グループ
H30 年度 (2018)	1 回	1 回 (現地視察)	-	-	・希少種保護マニュアル ・喜志大橋工事とオギ復旧	都市公園 管理共同体
R1 年度 (2019)	1 回	1 回 (現地視察)	-	-	・希少種保護マニュアルの更新 ・植物観察パンフレット	都市公園 管理共同体
R2 年度 (2020)	0 回	1 回 (協議会：新型コロナウイルス感染防止対応で中止)	1 回	-	・希少種保護マニュアルの更新	都市公園 管理共同体
R3 年度 (2021)	0 回	1 回 (協議会：新型コロナウイルス感染防止対応で中止)	1 回	-	・希少種保護マニュアルの更新 ・樹木伐採、オギ草地育成等	都市公園 管理共同体
R4 年度 (2022)	1 回 (書面開催)	1 回 (5/10)	-	-	・希少種保護マニュアルの更新 ・協議会の改編について (石川自然クラブ解散後、指定管理者の事業として活動を継承)	都市公園 管理共同体
R5 年度 (2023)	0 回	1 回 (3/4)	-	1 回 (打合せ)	・希少種保護マニュアルの更新 ・プラットフォーム会則等	都市公園 管理共同体

<プラットフォームの開催状況 R6（2024）～>

年度	運営会議	現地視察	報告会	その他	主な検討内容	管理者
R6 年度 (2024)	1 回	1 回	-	パネル展示 2 回	・プラットフォームの運営方法 ・自然環境保全活用マニュアル 更新	都市公園 管理共同体
R7 年度 (2025)	2 回	1 回 (川口教授)	-	-	・自然共生サイト申請、登録 ・自然環境保全活用マニュアル 更新	都市公園 管理共同体

●プラットフォーム運営会議 議事録

※注：議事録内のページ番号等は、開催時の配布資料の番号

令和7年度石川河川公園 自然ゾーン計画・運営プラットフォーム第1回会議 議事録

日時：令和7年7月29日（火）13時00分～14時30分

場所：石川河川公園管理事務所 会議室

出席者：大阪産業大学建築環境デザイン学部建築環境デザイン学科 川口 将武教授

大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻 藤原 宣夫客員研究員

富田林の自然を守る会 田淵 武夫氏

石川河川公園管理共同体 富永所長、升方副所長、漆畑氏、寺川氏（コーディネーター）

富田林土木事務所 鎌田課長、松村主査、小川副主査、清川副主査

○あいさつ、自己紹介等

〈メンバーが変更されたことも受け、自己紹介〉

※今年度より、大阪公立大学 上甫木教授に代わり大阪産業大学 川口教授が構成メンバーとなっている

以下、次第に沿って議事進行

○令和6年度活動実績報告（自然環境保全マニュアル（以下、マニュアル））

寺川氏：〈活動実績として、マニュアルを青字追記で示した箇所を中心に説明〉

川口氏：マニュアル48頁の基本スケジュールと50頁の位置図が対比しているものと理解するが、分かりにくい。現地に精通した者がわかる内容のやや閉鎖的な資料になっているため、もう少し分かりやすくしてほしい。

寺川氏：改善する。

漆畑氏：石川自然クラブは活動名のこと？団体名と解釈される虞あり。書きぶり工夫されたし。

寺川氏：改善する。

田淵氏：マニュアル50頁図面記載の「1)高木伐採」について、灌木の高木化、草地の樹林化が重要視すべき課題と認識する。元来、フラッシュにより攪乱され草地として自然維持されるのが当該自然ゾーンの思想であった。現実にはフラッシュが起きず実生木の高木化が進み、主たる保全対象の保全機能が低下している。

松村主査：そもそも自然ゾーンの高水敷はレベルが高い。この自然ゾーン高水敷にも水があがってくるような出水が数年前に一度あったが、それでも大きな攪乱には至らなかった。

鎌田課長：河川保全上レベルや護岸を改修することは困難。

寺川氏：現実的な対応として高木伐採と考えるが、ボランティアの域を超える内容となり、また流木化を防ぐため搬出するにも園路が必要となる。いずれにせよ予算の問題と認識する。のちに討論する自然共生サイト登録が少しでも足掛かりになればと考える。

藤原氏：マニュアル81頁の活動について、活動項目に抜けがあるので追記すること。

寺川氏：修正する。

○令和7年度の新規活動案（希少種保護取組）

（カヤネズミ保護草地へのチガヤ移植）

寺川氏：カヤネズミ保護草地として一年生短茎植生の群落形成が重要。これまで多年生高茎植生の除去、エノコログサの播種などを進めてきたが、試験的にチガヤの移植を試みたい。

藤原氏：チガヤは多年生で中茎、高茎植生にもなりうるので、カヤネズミの餌場としての機能は期待したいのでは。再考されたい。従来通り複数種のエノコログサ保全も継続すること。

（希少種の見本園づくり）

寺川氏：駒ヶ谷地区の修景池について、ミゾコウジュやタコノアシなど石川河川敷の希少種の見本園として活用したいと考えている。

升方氏：修景池はこれまで水質富栄養でアメリカザリガニばかりであったが泥上げをして水質改善に取り組みたいと考える。修景池と大池の間の園路（橋）の下部に農業用水路と思しき水流があり、これを利用して水質改善、修景池の水循環をしたいところ。

寺川氏：水質改善し、カワバタモロコも放流できたら。

（カワバタモロコの移入放流）

寺川氏：B地区人工ワンドにおけるカワバタモロコに関する活動は別添資料のとおり。A地区にある池や先述の水質改善後の修景池への導入を考えている。

田淵氏：A地区の池に、かつてはコオイムシが生息していた。そのような環境ができるとよい。

○その他

（自然共生サイト登録申請）

清川：〈自然共生サイト認定申請状況について説明〉

寺川氏：自然共生サイトに登録されるとPRのみならず交付金の後ろ盾となるメニューもあるので、今後の状況に着目。次回会議でまた情報共有したい。

（マニュアルのWEBサイト公開）

寺川氏：マニュアルの公開、情報発信を考えており、今後府と調整していきたい。

川口氏：マニュアルの内容の諸論は充実しているが、マニュアル本体一式を公開するとなるともう少し完成度を高めたほうがいいのでは。

寺川氏：公開を考えているのは67～73頁のダイジェスト版。

（ランドスケープ関連の学会発表、学術雑誌での発表）

寺川氏：上村木先生の提案もあったので、石川河川公園での取組を学会等での発表、情報発信を考えている。

藤原氏：それなら自然環境復元学会などはいかがでしょうか。純粋研究ではなく事例報告などが多く本ケースに合うと思う。

寺川氏：その方向で考えたい。今後もしいろいろと指導お願いしたい。

*次回、例年とおり、令和8年3月開催予定。

日 時：令和8年3月25日（水）9時30分～11時30分

場 所：石川河川公園管理事務所 会議室

出席者：大阪産業大学建築環境デザイン学部建築環境デザイン学科 川口 将武教授

大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻 藤原 宣夫客員研究員

富田林の自然を守る会 田淵 武夫氏

石川河川公園管理共同体 富永所長、升方副所長、漆畑氏、寺川氏（コーディネーター）

富田林土木事務所 鎌田課長、松村主査、小川副主査、清川副主査

○あいさつ、自己紹介等

〈各自自己紹介〉

以下、次第に沿って議事進行（富永所長司会）

○令和7年度活動実績報告（希少種保護の取組）

寺川氏：〈別添資料により説明〉

今年度の特筆的取組として、①駒ヶ谷地区修景池の整備と②カヤネズミ営巣地の環境改善の2点がある。

①では、別添イメージ図のとおりを検討しており、一部試験的に移植済み。今後、水質改善も含めて検討していく。②では、A地区小丘bで調査した営巣数が前年に比べて大きく減少した。これは小丘の中央あたりでエサ植物が他植物に被圧されたためと考え、B地区円形草地と同様に帯状にオギ刈取りを行い観察路をつくったところ。結果に期待したい。

○令和7年度活動実績報告（自然環境保全マニュアル）

寺川氏：上記活動や自然共生サイトについての記載も含めて、本年5～6月改正の見込みで編纂作業をしているところ。

○自然共生サイト認定を受けた新たな方策

富永所長：かねてより本会議で話題に挙げていた自然共生サイトについて、令和7年9月に正式に認定を受けたところ。これについて別添「今後の検討について」のとおり、大きく2項目立てでそれぞれ分担していきたいと考えている。

（マスタープランの検討、整備）

寺川氏：自然共生サイトとして自然ゾーンの計画の見直しが必要と考えている。環境省の交付金による既存計画の見直しを考えているところ。また、大阪自然史センターのプロジェクトYのデータを活用して、より計画の精度をあげていきたい。

漆畑氏：環境省の交付金について、3月23日に近畿環境事務所でヒアリングを受けたところ。別添資料の生物多様性増進活動実施強化の事業メニューが該当する。令和8年度の交付金申請は始まっているようで、4月以降月毎に締め切るものと考えられる。4月の申請に間に合うように交付申請したいのだが、交付申請時の事業計画について、専門アドバイザー、サポーターのみなさんに助言いただきたいと考えている。

川口氏：予算獲得のための事業計画では、2つのパターンが考えられる。1つめは、優先順位を明確につけておくもの。予算にも上限があるため、内容に優先順位をつけておくことで審査側も判断しやすい。2つめは、課題解決型。課題解決することで具体的な理想像になることをストーリー立てるもので、こちらも審査において有効。

田淵氏：現在の自然ゾーンは当初のビジョンと様相が大きく異なっている箇所がある。当初の計画について現状を加味したものに修正していくのか、もしくは当初ビジョンを達成するための行動計画として整理していくのか。方向性を明らかにする必要がある。

升方副所長：そもそもマスタープランを見直すというマクロな方針にするのか、もしくは現状の詳細調査などを行い5年後の自然共生サイト更新に向けたデータ蓄積を行うというミクロな方針にするのか。どちらかを整理する必要があるのでは。

川口氏：升方副所長の意見のとおり、当該区域ではマクロな調査検討とミクロな調査検討の2観点で必要になっている。交付金の充当として、その内訳でも明らかにしておいたほうがいい。

寺川氏：承知した。また相談させてもらいたい。交付金のほかに、予算執行できるものとして府営事業がある。今後の見通しは。

鎌田課長：府営事業として、調査や測量など大規模に行うことは可能だが、それらは整備を前提としているもの。かつてのようにあり方検討のような調査委託は難しい。

松村主査：具体的には、令和8年度に自然ゾーンの入口改修の委託を予定している。これは入口改修という整備をするために、コンサルに設計委託を出すもの。それに園路整備設計などを含めることは可能。これの成果を以て次年度以降に整備する予定。

寺川氏：マスタープランの再検討のような内容は難しいということか。いずれにせよ、交付金事業も府営事業も、まとまった予算で検討委託するということになるので、このプラットフォームを通して議論、情報共有したいと考える。

（連携体制構築）

漆畑氏：連携体制の構築として、山田池公園の「ホタルを増やす」というようなインパクトのあるキャッチフレーズがない中、どのようにして企業などに売り込んでいったらいいのか、助言願う。

川口氏：「川が川をつくる」というキャッチフレーズがすごくいい。B地区の草地となるべきゾーンが実生木による灌木林化しているということに対して、自然の流れを逆行させるために人手で伐採していくということになるという認識。これを打ち出して、マキタやハイコーキなどのメーカーに資機材提供を依頼し、企業研修の場として人手を確保すればいいかもしれない。別案件で、先日四條畷の里山で奈良市消防隊が研修として伐木作業に参加していた。研修で実作業をする必要があるため作業フィールドを探している団体は多いと思う。また、ミティゲーションの活動を求めている企業もあるのでは。

藤原氏：いずれにせよ、EMIELD に相談するのがいい。

○令和8年度の活動案

寺川氏：先に議論した行程表のとおりと考えている。まずは交付金申請に尽力。

漆畑氏：交付金申請での事業計画や、交付金事業での計画の見直し業務、府営事業の業務など、相談、議論することが多々あると思う。オンラインなども活用して、密に連携していきたい。

藤原氏：例年実施している保全協会主催の外来種関係ワークショップを、本年度は 10 月 17 日に実施予定、よろしく。また 10 月に実施している大阪公立大学の学生実習について、今年度は実施なし。その他、メールマガジンなどでプラットフォームの情報を定期的に流してほしい。

川口氏：5 月 17 日、公立大学で開催される造園学会全国大会のミニフォーラムにおいて、ネイチャーポジティブがメインテーマとなる見込み、情報提供まで。

○その他

富永所長：交付金受領のためにプラットフォームで会計処理の必要が生じるのか。

漆畑氏：先の環境事務所ヒアリングでは、交付金事業の運営は外部委託しているとのことでそちらに問い合わせるよう指導されている。現会則では会計についての項目がないため、会則変更の必要があれば、また改めて諮らせてもらう。

* 例年では次回 7 月開催。交付金事業計画もあるので、必要に応じて適宜開催。

5. 多様な主体の参加による管理運営

●石川自然クラブ

石川河川公園の希少種保護や自然環境保全のための活動を、指定管理者の事業として、毎月一回、府民のボランティア参加をよびかけて実施している。

もともと「石川自然クラブ」は、1999～2003年に開催された「石川河川公園自然ゾーンワークショップ」の実績を引き継ぎ、2003年に市民有志で立ち上げられた任意団体である。公園管理者との協同で、植物・昆虫などの生き物調査やミゾコウジュ保護活動、河川敷の竹林管理、他団体とのネットワークなどに取り組み、「石川河川公園自然ゾーン計画・運営協議会」にも、NPOの委員として継続参加していた。その後、多くの取組みが指定管理者の事業として実施できるようになり、中心メンバーの減少もあって任意団体は解散し、活動は2022年より同じ「石川自然クラブ」の名称で、指定管理者の事業として引き継がれた。

<2025年度の活動>

2025年4月10日（木） 13：00～15：30 7名 春の植物観察		2025年10月9日（木） 13：00～15：30 5名 カヤネズミ保護草地の クズ除去、低茎草地播種	
2025年5月8日（木） 13：00～15：30 8名 オギ草原のクズ除去		2025年11月13日（木） 13：00～15：30 7名 ミゾコウジュ自生地の除草 神社オギ移植地の除草	
2025年6月5日（木） 13：00～15：30 5名 ミゾコウジュ自生地のかく乱 神社オギ移植地の除草		2025年12月11日（木） 13：00～15：30 7名 カヤネズミ営巣調査 アレチウリ除草	
2025年7月10日（木） 10：00～11：30 7名 カヤネズミ営巣調査 オオブタクサ除草		2026年1月15日（木） 13：00～15：30 5名 ミゾコウジュ自生地のかく乱、 水路づくり、キョウブ除去	
2025年8月28日（木） 10：00～11：30 3名 魚とり、水生生物の観察		2026年2月12日（木） 13：00～15：30 5名 クズ根マーキング 石の掘り出し除去	
2025年9月11日（木） 10：00～12：00 3名 神社用オギ移植地の 除草		2026年3月12日（木） 13：00～15：30 5名 神社用オギの補植 ミゾコウジュ自生地の確認	
開催日数 12日 延べ参加人数 67名			

●希少種保護の市民参加イベント

ミゾコウジュ生育地やカヤネズミ営巣地の保護活動を、市民のボランティア参加をよびかけるイベントとして実施することも可能である。

＜ミゾコウジュ保護活動＞

- ・5月下旬～6月：
花の観察、選択除草、かくらん作業、
種子採取とプランター播種など
- ・3月：ロゼットの観察、選択除草、攪乱作業など

＜カヤネズミ保護活動＞

- ・5～6月：カヤネズミの巣さがし、クズ取りなど
- ・11月：巣さがし、オギの穂を使ったクラフトなど
- ・2月：オギの移植、クズ（地表のつる）取りなど

●企業、団体等への参加よびかけ

希少種の保護活動は一般市民が参加するイベントだけでなく、地域の企業や団体に参加をよびかけることで、より幅広い取組みが可能になる。これまで直接の企業参加の実績はないが、以下のような連携活動が実施されている。

- ・羽曳野市みどりの少年団
- ・大阪産業大学「TOMOIKI プロジェクト」2017
- ・羽曳野市教職員の研修 2018, 19
- ・大阪公（府）立大学学生の参加・研究 2018～
- ・NPO 法人里山倶楽部「里山写真展・一眼レフ教室」2019
- ・日本野鳥の会大阪支部ほか「野鳥フェア」2018～
- ・中学生職業体験：2023
- ・公社 大阪自然環境保全協会「自然かんさつ塾」2024
- ・おおさか都市緑化フェア（出店）2024
- ・錦織公園パークフェスタ（出店）2024
- ・大阪府民カレッジ富田林校 2024～
- ・昆虫調査、植物相調査（大阪自然史センター）2025
- ・はびきの市民フェスティバル（出店）2025～
- ・出前事業（西浦東小、松原南小、喜志小、駒ヶ谷幼稚園、みはら歴史博物館）

企業や団体の参加による、資金面での支援や労力提供があれば、公園予算だけでは困難な生育地整備、また少人数のボランティアでは難しかったきめ細かな管理作業などをすすめることも可能になる。地域の希少生物を守る活動は社会へのPR効果も高いと考えられ、さらに一般市民の参加の増加も期待できる。今後は、石川河川公園周辺に立地する企業や、これまで公園との連携実績のある団体などにアプローチすることが望まれる。



羽曳野市緑の少年団



小学校の出前事業（移動水族館）



自然かんさつ塾（外来植物の観察）



はびきの市民フェスティバル



大阪府民カレッジ

石川の希少種を守る！自然ボランティア

石川自然クラブ

カヤネズミ・ミゾワシロ・タコノアシ・オオタカ・オオヨシキリ
絶滅が心配される生きものたちをみんなで守っていきましょう。

石川自然クラブは、石川河川公園の自然環境を保護・保全するために、自然愛好者、ボランティア、市民などからなる団体です。毎年、自然観察会、自然教室、自然保護活動などを行っています。今年度は、絶滅が心配される生きものたちをみんなで守っていきましょう。

参加 無料

2025年度 毎月 第二木曜日 13:00～16:00
（雨天中止）

開催月	開催日	開催場所	観察対象
1月	1月16日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
2月	2月14日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
3月	3月13日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
4月	4月11日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
5月	5月9日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
6月	6月7日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
7月	7月5日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
8月	8月3日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
9月	9月1日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
10月	10月29日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
11月	11月27日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ
12月	12月25日	石川河川公園	カヤネズミ、ミゾワシロ

●同様に、石川河川公園の自然環境を保護・保全するために、自然愛好者、ボランティア、市民などからなる団体です。毎年、自然観察会、自然教室、自然保護活動などを行っています。今年度は、絶滅が心配される生きものたちをみんなで守っていきましょう。

〒770 石川河川公園 管理事務所

石川河川公園 初夏の「自然ゾーン」散策

植物観察会

～ 準絶滅危惧種「カワデジャ」を見に行こう！ ～

2025年 5月10日(土) 13:00～15:00
講師：大阪自然史センター理事長 梅原 徹氏

カワデジャは、準絶滅危惧種で大阪市のレッドデータブックに「準絶滅危惧種」として掲載されている希少植物です。石川河川公園の自然ゾーンに生息していますが、観察が難しい植物です。カワデジャと生息地の観察、準絶滅危惧種の観察を行います。観察は自然観察会として、自然観察会を開催して、カワデジャを見に行きます。観察は自然観察会として、自然観察会を開催して、カワデジャを見に行きます。

参加 無料
4/10 受付開始

石川河川公園 秋の自然ゾーン散策

植物観察会

～ 準絶滅危惧種「タコノアシ」を見に行こう！ ～

2025年 11月15日(土) 13:00～15:00
講師：大阪自然史センター理事長 梅原 徹氏

タコノアシは、準絶滅危惧種で大阪市のレッドデータブックに「準絶滅危惧種」として掲載されている希少植物です。石川河川公園の自然ゾーンに生息していますが、観察が難しい植物です。タコノアシと生息地の観察、準絶滅危惧種の観察を行います。観察は自然観察会として、自然観察会を開催して、タコノアシを見に行きます。観察は自然観察会として、自然観察会を開催して、タコノアシを見に行きます。

参加 無料
10/16 受付開始

石川河川公園 野鳥フェスタ 2026

石川の鳥・里山の鳥・野鳥の会・鳥の会
いっしょに 野鳥の会・鳥の会

鳥って おもしろ!!

2026年 1月31日(土)～2月8日(日) 9:00～17:00
会場 石川河川公園 納ヶ谷地区 管理事務所
※近鉄南大阪線「納ヶ谷」駅から徒歩1分、駐車場あり（土日は有料4,000円）

入場 無料

冬の石川
バードウォッチング
2/1(日)開催
13:00～15:00

羽根 100種！
展示と鑑定
探し手不明の羽根を
ご持参ください。

野鳥グッズ
販売&展示
羽根アクセサリー
屋の缶バッジなど

TEL 072-956-1920
〒770 石川河川公園 管理事務所

秋の野草の X'mas リース

2025年 11月23日(日) 13:00～16:00

公園のツルや
木の実で、
自然素材の
リースを
作りましょう。

Merry Christmas

10/20 受付開始
参加費 300円

今年も、
ツル取りから
やります！

すてきな
野草をみつけて
飾ろう！

◆場 所：自然ゾーンエリア 河内橋下の広場 ※裏面の地図をご参照ください。
◆対 象：どなたでもご参加いただけます。（幼児～小学生は大人がご同伴ください。）
◆人 数：先着20名様（定員に達しない場合は中止です。）
◆参加費：300円
◆製 菓：おたけい製菓、多岐やさい製（河内橋下の広場に設置します。）
◆持ち物：軍手、持ち帰り用袋、あれば用意は済み、ラジオペンチ

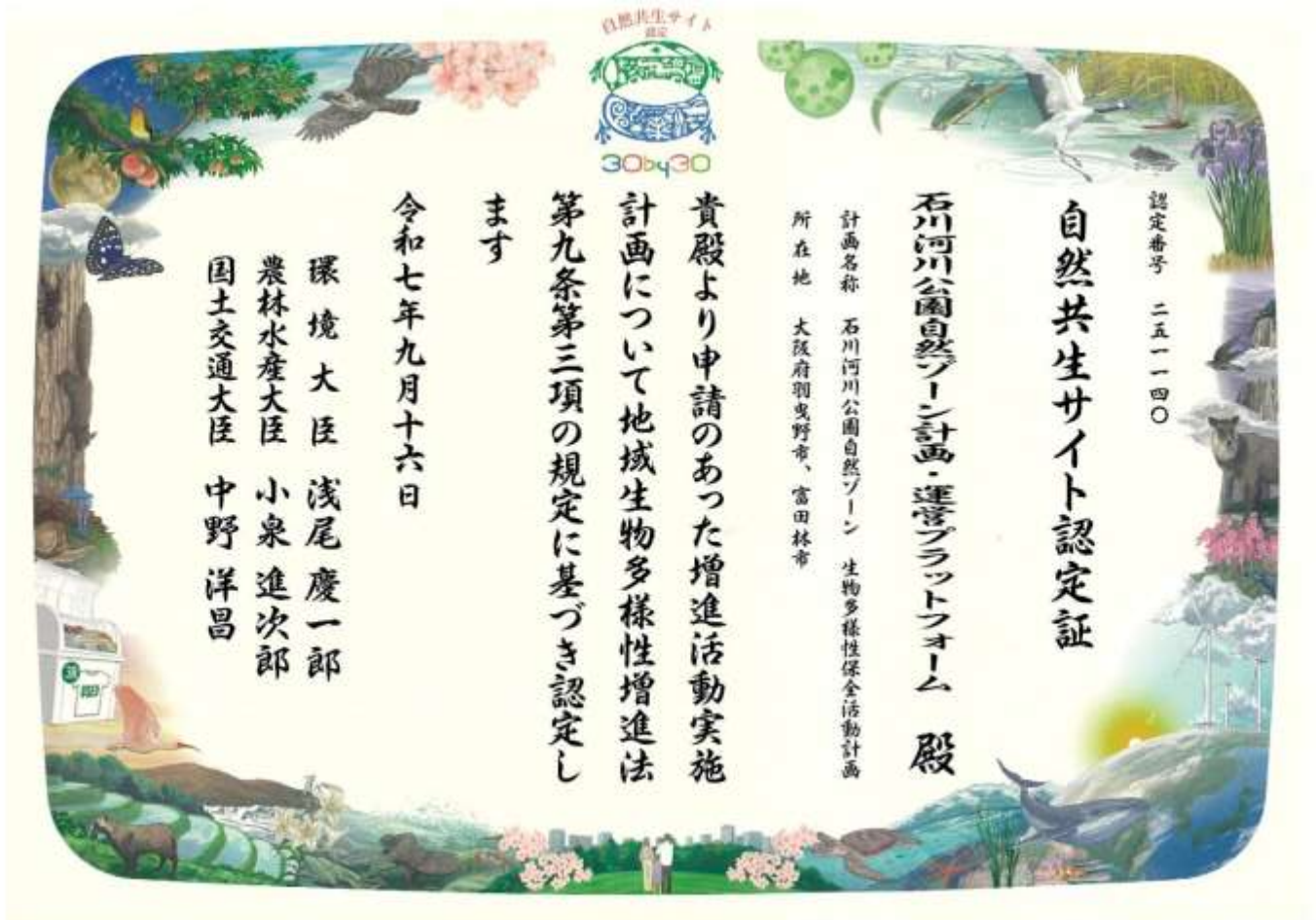
石川河川公園管理事務所 TEL 072-956-1900
ご参加には、事前予約が必要です。
定員に達しない場合は当日も受け付けます。
お名前、連絡先、参加人数(大人・子供)をお知らせください。

主 催 石川河川公園

6. 自然共生サイト

石川河川公園の自然ゾーンでは、20年にわたり自然保護活動を行っているにもかかわらず認知度が低く、希少種保護や現地管理に必要なリソースの確保が難しい状況である。そのため自然共生サイトの認定を受けることで、外部からの評価を得て、行政だけでなく企業・市民にも広く知ってもらうことを目指して申請することとした。申請にあたっては、プラットフォーム運営会議での意見交換やアドバイスをもとに、プラットフォーム事務局が申請者となり、R6（2024）年4月に応募、9月に正式認定を受けた。

- <申請者名> 石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム
代表者：大阪府富田林土木事務所 所長 岡田秀樹
土地所有者：国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
- <計画名称> 石川河川公園自然ゾーン 生物多様性保全活動計画
- <対象地> 自然ゾーン A, B, D地区 (28.51ha 富田林市西条町地先)
- <申請経緯> 2024年9月 R6年度後期に自然共生サイト応募申請
2025年3月 審査可能数超過のため翌年の「生物多様性増進活動促進法」に基づく申請に切り替え
4月 R7年度審査にあらためて応募申請
9月16日 自然共生サイトに認定（認定番号 251140）
9月30日 自然共生サイト認定式



<「自然共生サイト」とは>

～環境省パンフレットより～

ネイチャーポジティブ実現に向けた取組として、地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律に基づき、企業の森や里地里山、都市の緑地など民間の取組等による生物多様性を増進する活動計画を国が認定する制度です。認定された活動の実施区域を「自然共生サイト」と呼びます。



<自然共生サイト 認められた5つの価値>

～申請書記載内容より～

1) 二次的な自然環境に特徴的な生態系

自然再生をめざした公園整備（起伏や水路を造成）ののちに二次草原が成立し、その後、公園管理の多寡（除草なし～年数回の刈取り、樹木伐採等）によって一年生草地からオギ等の多年生草地、樹林地（アキニレ等の先駆種）、自然再生した湿地、本流や水路の水辺・砂礫地などが、モザイク状に立地している。

2) 生態系サービスの提供の場で、在来種中心の健全な生態系

- ・石川自然クラブ：毎月1回、自然ゾーンの植生管理を行うボランティア活動を行っており、年間延べ約100名の参加者が希少な動植物の保全に取り組んでいる。
- ・自然観察会：春秋2回の植物観察会、夏の水生生物観察、冬の野鳥観察会のほか、クズのつるを使ったリース作りなども行っており、環境教育や自然に親しむ場を提供している。

3) 地域の伝統文化のための自然資源の供給の場

地域の神社の行事で作られる「茅の輪」の材料として、2018年から公園内のオギを提供している。ただ同じ場所を連続して6～7月の成長期に刈り取ると次第に衰退していくことが考えられるため、新規のオギ草地の創出（根茎移植、除草管理等）に取り組み、毎年異なる場所を順番に刈り取ることを目指している。オギ草地の保全創出は一般ボランティアのほか提供先の神社からも除草作業の協力を得て実施している。

4) 希少な動植物種が生育生息している場

- ・オギ草地で毎年カヤネズミが営巣しており、特に営巣の多い箇所を保護草地として保全管理している。
- ・ミゾコウジュ自生地は南河内地域ではここを含め2箇所のみで、人工かく乱などの管理を行っている。
- ・タコノアシとカワヂシャの自生地が、河川敷の湿地や池・水路沿いに見られ、一部で除草などを実施。
- ・キツネの生息が自動撮影カメラや目視で確認されており、巣穴と思われる箇所もみついている。

5) 越冬、休息、繁殖、採餌など動物の生活史にとって重要な場

自然ゾーンの周辺は比較的農地なども広がっているが多くは郊外の住宅地となっており、動物や鳥類の生息地となるまとまった緑地や水辺は少ない状況にある。そのため、さまざまな動物の採餌や繁殖の場また近接する里山からの飛来・移動の経路、渡り鳥の繁殖や中継地として周辺地域の中で重要な緑地となっている。



様式1-2 別紙2 石川河川公園自然ゾーン 生物多様性保全活動 計画の概要

申請者：石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム

【維持タイプ】

【実施区域・面積】

大阪府、 28.51ha

【生態系タイプ】

二次草原・草地、水田、創出緑地、
河川・湖沼

【実施区域の状況】

石川河川公園は、大阪府南河内地域を流れる一級河川石川の河川敷を利用した公園で、4市1町にまたがり11.6Kmの延長を持つ長大な大阪府営唯一の河川公園である。そのうち自然ゾーン（約1.6km、41.3ha）はH6（1994）年頃からはじまる市民団体との話し合いから、現在の「自然ゾーン計画・運営プラットフォーム」に至るまで、市民と行政との協働によって公園整備が進められてきた。その成果として、自然ゾーンの区間は、市民からの要望にもとづき新たな低水路護岸を設置せず、できるかぎり自然の水際を優先して川の営みを再生する場として位置付けられ、さまざまな自然保護・復元の試みが展開されている。

【目標】

環境省RL準絶滅危惧種のミゾコウジュ、タコノアシ、カワヂシャ、および大阪府RL準絶滅危惧種のカヤネズミなどの生育・生息環境や、河川らしい自然環境を保全創出するとともに、都市公園として府民が自然環境に親しむ場、環境教育の場を提供することを目的としている。

【主な活動内容】

- 自然環境保全活用マニュアルの作成：希少な動植物の保護保全や生育地管理などについて毎年更新
- カヤネズミ生息地の保全管理：営巣地のオギ草地の維持管理、採餌地となる低基草地の創出など
- 地域神社の伝統行事の材料提供：茅の輪くぐりに使用するオギの提供および安定供給のためのオギ移植
- 絶滅危惧種の生育湿地の保全管理：ミゾコウジュ、タコノアシ、カワヂシャのための除草、かく乱など

【モニタリング計画】

- カヤネズミ：オギ草地3ヶ所で営巣のカウント、利用した植物、巣の状況を記録（年2回）
- ミゾコウジュ、タコノアシ、カワヂシャ：湿地3ヶ所で、開花数や生育株数のカウント（年1～2回）
- 哺乳類、鳥類：自動撮影カメラの設置、大阪府生物多様性センターによるデータ確認・解析

【実施体制】

「石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム」

大阪府、指定管理者、コーディネーター、専門アドバイザー（学識者）、サポーター団体※ で構成

※大阪市立自然史博物館、日本野鳥の会大阪支部、公益社団法人 大阪自然環境保全協会 理事会
大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻 教授会、NPO法人里山倶楽部

石川河川公園自然ゾーン 全体図



【計画期間】

2025年9月～2030年8月

Ⅲ 参考資料

1. 自然ゾーン 関連資料

●新都市「大阪府営公園におけるネイチャーポジティブの取組

／大阪府都市整備部公園課・枚方土木事務所・富田林土木事務所

(公益財団法人都市計画協会 第80巻第1号 2025年12月25日発行)



特集 2	ネイチャーポジティブなまちづくり
〈総論〉	
○自然共生サイトと地域生物多様性増進法	
..... 環境省自然環境局自然環境計画課地域ネイチャーポジティブ推進室	63
〈取組事例の紹介〉	
○大阪府営公園におけるネイチャーポジティブの取組	
..... 大阪府都市整備部公園課／枚方土木事務所／富田林土木事務所	67
○つくば市が取り組むネイチャーポジティブな都市公園の運営管理	
～自然共生サイト「洞峰公園」での生物多様性保全活動～	
..... つくば市建設部公園・施設課	72
○ネイチャーポジティブとまちづくり「国営アルプスあづみの公園	
里山文化ゾーン（自然共生サイト）から地域の自然再興を考える」	
..... アルプスあづみの公園管理センター市民協働担当課課長 須之部 大	78 ※

大阪府営公園における ネイチャーポジティブの取組

大阪府都市整備部公園課／枚方土木事務所／富田林土木事務所

1. はじめに

大阪府（以下、「本府」という。）では、府内19か所の都市公園を府営公園として管理運営しており、市街地部や郊外部、山麓部、臨海部の立地特性に応じた公園づくりを行っています。



図1 府営公園位置図

府営公園の整備・管理運営にあたっては、「大阪府営公園マスタープラン（H31.3）」により、下記4点を目標像として設定しています。

- ①大阪の活力と魅力を高める公園
- ②府民の豊かな生活を育む公園
- ③府民の安全・安心を支える公園

④都市の自然環境を次世代に継承する公園

本稿では、特に上記④に関連した、自然環境を活かした取組について、令和7年度に自然共生サイトとして認定された山田池公園および石川河川公園での取組を紹介します。

2. 山田池公園での取組

2-1. 山田池公園について

山田池公園は、大阪平野の周縁北東部、生駒山系から連なる丘陵に位置する昭和54年に開設された面積73.7haの広域公園です。園内には築造から約1,200年と伝わる



大阪府営山田池公園
ホームページ

山田池を中心に、神社林として守られてきた春日山など豊かな自然環境を残しており、日本の伝統的園芸植物に触れる水生花園や人工溪流などを備え、自然を満喫できる公園をめざして整備・運営しています。山田池は約10haの灌漑用水池であり、かつては養魚や鴨猟も行われていました。また、池周辺の丘陵地には畑や樹園地、竹林、薪炭林が広がり、低湿地帯は水田として利用されるなど、古くから地域住民の生活と深い関わりを持つ里山空間でした。

公園の管理にあたっては、地域の歴史風土に根差した里山の自然環境をボランティア団体と協働で保全するとともに、いきもの観察会や竹林・里山の管理体験会等の体験学習、工作体験など、自然環境と触れあえる取組を行っています。



写真1 山田池と春日山



写真2 山田池の岸边 (水位低下時)

2-2. サイトの概要と価値

山田池公園北側 33.26ha の区域が自然共生サイトとして認定を受けました。

「枚方いきもの調査会」が実施した令和5年度の調査報告によると、63種の鳥類、88科269種の植物、約135種の昆虫が確認されており、多種多様な動植物が生息する空間となっています。

鳥類ではオオタカをはじめオシドリ、トモエガモ、植物ではサワフタギ、環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類のオオアブノメ、ヤナギヌカボ、準絶滅危惧のコイヌガラシ、大阪府レッドリストのマツカサススキ、サデクサ、オオシロガヤツリが確認され、希少な動植物種が生息生育している場所となっています。

2-3. ボランティア団体と連携した活動

本区域において自然保護の活動を行うボランティア団体は5団体あり、春日山周辺の竹林・里山管理や、竹炭づくりによる水質改善活動、いきもの調査・観察会等に取り組んでいます。特にいきもの調査は、23年間の長期にわたり公園内の鳥



図2 自然共生サイト区域図



写真3 春日山に営巣するオオタカ

類、植物、昆虫、魚類のモニタリング調査を継続しています。

なかでも「ホタル増殖計画推進会議」は、激減したゲンジホタルを復活させることを目的に、令和3年に立ち上がりました。地域団体やボランティア団体、学識経験者との協働により、ホタルが自然繁殖できる環境づくりに取り組んでおり、遺伝子かく乱が生じないように、当地のホタルを捕獲して産まれた卵から幼虫を養殖して放流するとともに、エサとなるカワニナを付近で採取して放流しています。また生息域となる人工渓流の水温管理

や天敵となるザリガニの駆除、除草清掃といった環境改善活動を行っています。



図3 各ボランティア団体の連携関係

表1 活動団体と活動内容

活動団体	活動内容
ホタル増殖計画推進会議	ホタルが自然発生する環境づくり
牧方いきもの調査会	いきもの調査・観察会
ゆうゆう自然クラブ	竹林の管理・工作体験
シニア自然大学校森林文化科	竹林・里山の管理
竹取物産の会	竹炭による水質浄化

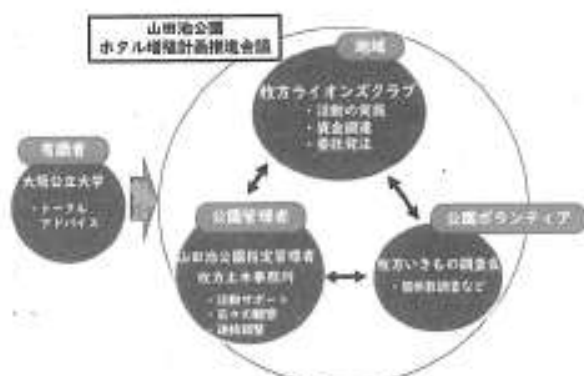


図4 山田池公園ホタル増殖計画推進会議の体制

なお、ホタルの1日当たりの最大飛翔確認数は、活動を始めた令和3年から徐々に回復傾向にあることから、繁殖状況を確認するため幼虫の養殖を一旦中止し、自然発生数を注視しながら環境改善活動を進めていく予定です。

ホタルの1日当たり確認飛翔数

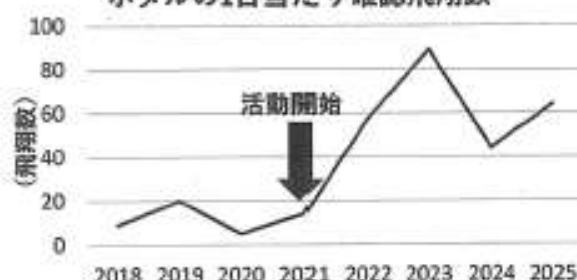


図5 ホタルの1日あたり確認飛翔数

2-4. 今後について

自然共生サイトの認定は、ボランティア団体との協働によるこれらの取組を評価いただいたものと認識しています。未来にこの豊かな生物生息空間をしっかりと引き継いでいくよう、引き続きボランティア団体と連携して取り組んでいきます。

3. 石川河川公園での取組

3-1. 石川河川公園について

石川河川公園は一級河川石川の河川敷を主体とした、全長11.6kmにおよぶ、府営公園唯一の河川公園となっています。また、石川は、大阪と奈良・和歌山の境をなす金剛葛城山系に源を発しており、治水・利水等においても重要な役割を担っています。



大阪府営石川河川公園ホームページ

本府では、石川において1980年代より、均質的に一様な護岸、高水敷を整備する河川改修を進めてきました。一方で、河川への親水機能に対する社会的な評価が高まり、石川の有する固有の自然環境も踏まえ、本府は「南河内地区の自然・歴史・風土に根ざした総合的な水辺環境の創造」を基本とした「石川あすかプラン（昭和61年12月）」をとりまとめました。平成4年からあすかプランに基づいた本公園を整備しつつ、地域の共有財産として親しまれる公園をめざし、学識経験者や地域住民を交えた協議体を発足させ、行政・府民協働で河川整備、公園整備を進めてきました。この協議体は、現在、「自然ゾーン計画・運営プラットフォーム」となり、維持管理・運営面における本公園の在り方検討を重ね、様々な自然保護・復元

の試みが議論されているところです。

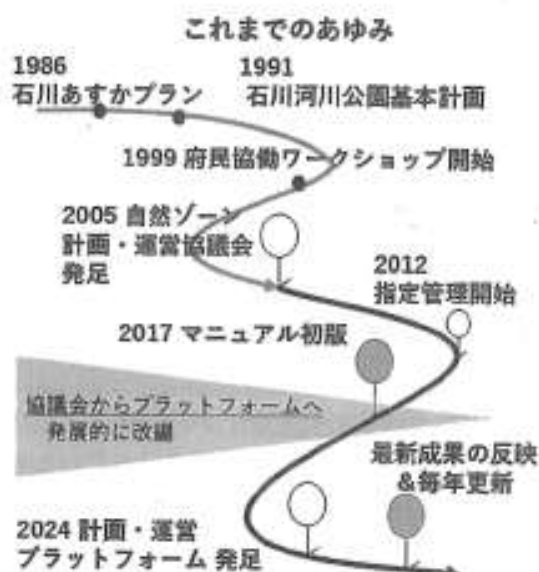


図6 府民協働のあゆみ

3-2. サイトの概要と価値

自然共生サイトに認定された自然ゾーンは、石川でも300～400mと広い河川幅を有しており、低水護岸は設置されずできるかぎり自然の水際を



図7 石川河川公園 自然ゾーン

優先するよう生物へ配慮されています。また、微地形に富んだ河川環境であることと併せて二次的に成立した草原という環境も相まって、郊外都市における多様な動植物の生活の場として機能しています。

それゆえに、希少種のカヤネズミ（哺乳類）などの生息、ミゾコウジュ、タコノアシ、カワヂシャ（全て草本類）などの生育が確認されています。また周辺の多くは郊外住宅地となっている中、本ゾーンは、さまざまな動物の採餌、繁殖の場、渡り鳥の中継地として重要な緑地になっています。

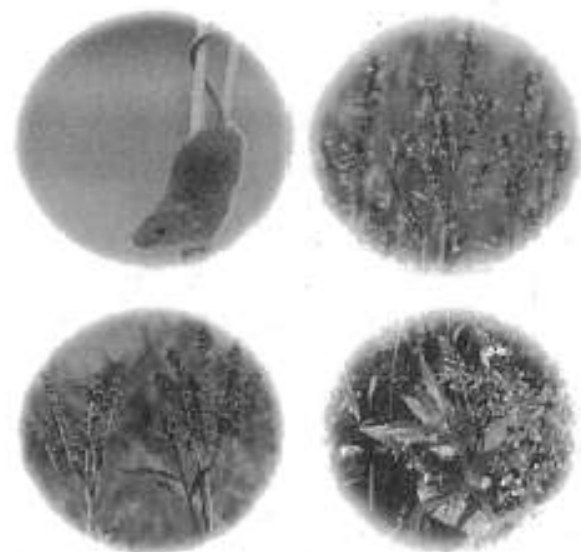


写真4（上段左より）カヤネズミ、ミゾコウジュ（下段左より）タコノアシ、カワヂシャ

3-3. 石川河川公園での取組

本ゾーンでは、希少種の保護と環境保全を目的として、一貫して地域住民やNPO団体等により構成されたボランティア主体で各種モニタリング、生息地確保や侵入植物防除のための作業、自然観察会開催による普及啓発などを実施されてきました。

特にカヤネズミについては、「大阪府レッドリスト2014」で準絶滅危惧に指定されており、近年、生息地となる草地環境が激減していることから生息が危ぶまれています。本ゾーンにある約4,000㎡の草地をカヤネズミの保護区域としており、草地内に存在するオギ群落には毎年複数のカヤネズミの巣が確認されていることから、オギの移植や草刈り、クズの根茎除去などの管理が行われています。またその生息域を拡大させるために、オギを

他エリアに移植するなど、オギ群落の保全・拡大が行われています。その結果として、近年ではカヤネズミの営巣数が増加しました。また、本ゾーンで採取された良質なオギは、地域の神社へ提供し伝統行事「茅の輪くぐり」の資材として活用されています。

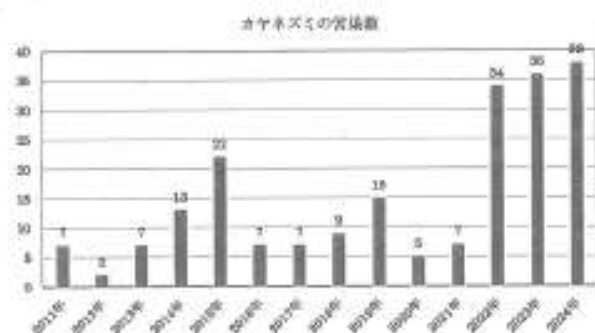


図8 カヤネズミ営巣数の経過

3-4. 今後について

活動主体であるボランティアは高齢化により、かつてほどの活動ができなくなっており、それに加えて、侵入種の増加などにより生態系維持の課題が顕在化し、より一層の作業量が求められているという厳しい状況にあります。あわせて、本ゾーンの価値を認識していることが一部関係者に留まっていることから、担い手確保が最大の課題となっています。

今般、本ゾーンが自然共生サイトに認定されたことで、これまでの活動や自然ゾーンに対する認知度が上がったと考えています。また、プラットフォームがとりまとめた、今後の管理運営やボランティア活動に活かせるよう、取組の知見やノウハウを集積した「自然環境保全・活用マニュアル」については、以後更新を重ねているところです。これらにより、多様な主体（産官学、NPO、住民）に活動を呼びかけ連携し、より効率的かつ効果的な手法を実践し、これら活動が継続的に行われていくよう、引き続き取り組んでいきます。



石川河川公園

自然環境保全・活用マニュアル

～ 希少種保護の留意点 ～

(カヤネズミ、ミジコウジ、オコノアト、カラサシ+他)



図9 自然環境保全・活用マニュアル

4. 今後の進め方

今回は、山田池公園および石川河川公園の取組について紹介しましたが、府営公園には都市部の貴重なみどりとして、多様な生物が生息しており、各公園ではそれぞれの自然環境を活かした保全活動やイベントなどの取組を行っています。また、来園者と生き物との貴重なふれあいの場となるよう、園内で見られる生き物を各公園 HP で紹介するなど、情報発信にも努めています。引き続き、都市の自然環境を次世代に継承する府営公園をめざした取組を実施するとともに、その魅力について適切に情報発信し、公園の魅力向上につなげていきます。

●自然共生サイト 認定申請書一式

・提出日 R7/2025 年 4 月 1 日

・提出内容

様式 1 - 1	増進活動実施計画 認定申請書
様式 1 - 2	増進活動実施計画
別紙 1	サイト詳細 シート
	基本的事項
	申請者 記入シート
	連携活動実施者 記入シート
	土地所有者等 記入シート
	公物等 記入シート
	サイトの状況
添付 1	G I S データ
添付 2	区域内的の動植物リスト
添付 6 - 1	石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム 会則
添付 6 - 2	構成メンバー表 20240911
別紙 2	活動計画概要
様式 4 - 1	特例措置の活用に関する事項

以上 別添 C D にデータを収録

2. 自然ゾーン関連活動 一覧 (R7/2025)

	日程	実施内容		場所	参加	備考
1	4月3日	大和川・歴史の里植物観察会:参加	大阪自然史センター	大和川ほか	10	
2	4月10日	春の植物観察	石川自然クラブ	A 地区	7	
3	4月26日	昆虫採集入門講座	大阪自然史センター	B 地区	40	関西テレビ取材
4	5月5日	はびきの市民フェスティバル:出店	羽曳野市主催	峰塚公園	5	来場 300 人
5	5月7日	植物相調査	大阪自然史センター	A 地区	-	プロジェクト Y
6	5月8日	カヤネズミ保護草地のクズ除去	石川自然クラブ	A,B 地区	8	
7	5月10日	初夏の植物観察会		B 地区	10	梅原講師
8	5月30日	池の浚渫、掘下げ		A 地区	-	重機作業
9	6月1日	ミゾコウジュ育成地の除草	緑の少年団	駒ヶ谷修景池	15	
10	6月5日	ミゾコウジュ自生地、神社オギ移植地除草	石川自然クラブ	D 地区	5	
11	6月5日	植物相調査	大阪自然史センター	A 地区	-	プロジェクト Y
12	6月18日	自然ゾーン現地案内		A,B,C 地区	2	川口教授
13	6月24日	茅の輪用オギ刈取り、カヤネズミ営巣調査		パークゴルフ場	4	道明寺天満宮
14	7月10日	カヤネズミ営巣調査	石川自然クラブ	A 地区	7	
15	7月10日	カヤネズミ営巣調査、園路除草、現地確認		B,D 地区	2	
16	7月14日	植物相調査	大阪自然史センター	A 地区	-	プロジェクト Y
17	7月19日	昆虫ライトトラップ調査	大阪自然史センター	B 地区	-	プロジェクト Y
18	7月29日	プラットフォーム運営会議		管理事務所	11	
19	8月19日	植物相調査	大阪自然史センター	A 地区	-	プロジェクト Y
20	8月28日	魚・水生生物の採取、観察	石川自然クラブ	B 地区	3	
21	9月11日	神社用オギ移植地の除草	石川自然クラブ	D 地区	3	
22	9月19日	全面除草		A 地区	-	アカシア緑化
23	9月19日	植物相調査	大阪自然史センター	A 地区	-	プロジェクト Y
24	9月25日	神社用オギ移植地の除草		D 地区	4	道明寺天満宮ほか
25	10月9日	カヤネズミ草地のクズ除去、低茎草地播種	石川自然クラブ	A 地区	5	
26	10月9日	植物調査(タコノアシ等)	大阪公立大	B 地区	7	藤原氏・上田助教
27	11月13日	ミゾコウジュ自生地、神社オギ育成地除草	石川自然クラブ	D 地区	7	
28	11月15日	秋の植物観察会		B 地区	13	梅原講師
29	11月23日	秋の野草の Xmas リース		B 地区	10	
30	12月11日	カヤネズミ営巣調査、アレチウリ除草	石川自然クラブ	A,B 地区	7	
31	12月13日	タコノアシ自生地の刈払機除草		B 地区	3	
32	12月17日	絶滅危惧種エリアの石敷き園路整備		駒ヶ谷修景池	3	
33	12月18日	〃 〃 植栽整備		駒ヶ谷修景池	2	
34	12月18日	カヤネズミ営巣調査		B 地区,パーク	1	
35	1月15日	タコノアシ自生地の手入れ	石川自然クラブ	B 地区	5	
36	1月23日	全面除草		B 地区	-	アカシア緑化
37	1月23日	大阪府民カレッジ 富田林校		富田林市民会館	39	
38	1月28日	全面除草		A 地区	-	アカシア緑化
39	1月31日	水路 3 か所の除草		A 地区	-	アカシア緑化
40	1/31~2/8	野鳥フェア		事務所,東公民館	260	2/1 野鳥観察会
41	2月12日	クズ根マーキング、除草、石の掘り出し	石川自然クラブ	A,歴史の里	5	里山倶楽部
42	3月10日	チガヤ掘取り、オギ観察路整備・クズ除去		A,歴史の里	-	重機作業
43	3月12日	神社用オギ草地の補植	石川自然クラブ	D 地区	5	
44	3月25日	プラットフォーム運営会議		管理事務所	11	
				計	519	

3. 自然ゾーンの生きものの記録

●植物 (○開花)

※2014～2020 は「R5 (2023 年度更新版) を参照
※○記載のない種は、2014～2020 に確認されたもの

		2021	2022			2023			2024				2025					
			観察会: 梅原			観察会: 梅原					観察会: 梅原		観察会: 梅原		観察会: 梅原	自然史博	観察会: 梅原	
			4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
				B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	～25	B地区
1	アイダクグ																◇	
2	アオウキクサ																◇	
3	アオオニタビラコ																◇	
4	アオカモジグサ																◇	
5	アオガヤツリ																◇	
6	アオカラムシ																◇	
7	アオスゲ																◇	
8	アカオニタビラコ																◇	
9	アカザ																	
10	アカメガシワ																◇	
11	アキノレ																◇	
12	アキノウナギツカミ													○				○
13	アキノエノコログサ													○			◇	○
14	アキノノゲシ					○	○			○				○			◇	○
15	アキメヒシバ																◇	
16	アケビ										○						◇	
17	アゼガヤ																◇	
18	アゼナ																◇	
19	アゼナルコ				○								○			○	◇	
20	アメリカアサガオ						○							○				○
21	アメリカアゼナ																◇	
22	アメリカイヌホオズキ						○			○				○			◇	○
23	アメリカキンゴジカ																◇	
24	アメリカセンダングサ									○				○			◇	
25	アメリカタカサブロウ																◇	
26	アメリカネナシカズラ																◇	
27	アメリカフウロ				○								○			○	◇	
28	アリアケスミレ	○																
29	アリタソウ																◇	
30	アレチウリ					○	○			○				○			◇	○
31	アレチギシギシ							○								○	◇	
32	アレチヌスビトハギ																◇	
33	アレチハナガサ													○			◇	
34	イグサ																◇	
35	イシミカワ																◆	
36	イタチハギ																	
37	イタドリ	葉															◇	
38	イチゴツナギ																	
39	イヌガラシ																◇	
40	イヌコウジュ						○			○				○			◇	○
41	イヌコモチナデシコ				○											○		
42	イヌタデ					○	○			○				○			◇	○
43	イヌドクサ																	
44	イヌビエ																◇	
45	イヌビユ																	
46	イヌホオズキ						○										◇	○
47	イヌムギ																◇	
48	イノコヅチ																◇	
49	イノモトソウ																◇	
50	ウシクグ													○				○

		2021	2022			2023			2024				2025				
				観覧会: 梅原	観覧会: 梅原					観覧会: 梅原	観覧会: 梅原		観覧会: 梅原	自然史博	観覧会: 梅原		
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	~25	B地区
51	ウシハコベ															◇	
52	ウチワゼニクサ															◇	
53	ウナギツカミ	実															
54	ウマノアシガタ		○	○													
55	ウマノスズクサ															◇	
56	エゾノギシギシ											○			○		
57	エノキ															◇	
58	エノキグサ															◇	
59	エノコログサ				○											◇	
60	オオアレチノギク				○												
61	オオイヌタデ															◇	
62	オオイヌノフグリ			○												◇	
63	オオイヌホオズキ																
64	オオエノコ																
65	オオオナモミ	実							○							◇	仿雑
66	オオカワヂシャ		○	○				○				○		蕾?	○	◇	
67	オオキンケイギク			○		○						○					
68	オオクサキビ															◇	
69	オオシマザクラ																
70	オオスズメノカタビラ														○	◇	
71	オオタチヤナギ															◇	
72	オオニシキソウ				○								○			◇	○
73	オオバコ															◇	
74	オオフサモ																
75	オオブタクサ				○				○							◇	
76	オオヘビイチゴ											○					
77	オオマツバウンラン														○		
78	オギ								○				○			◇	○
79	オキジムシロ			○											○		
80	オッタチカタバミ	○		○	○	○	○			○		○			○	◇	
81	オトコエシ																○
82	オニグルミ	○															
83	オニタビラコ																
84	オニドコロ																
85	オニノゲシ																
86	オヒシバ															◇	
87	オヘビイチゴ	○	○	○			○			○		○			○	◇	
88	オヤブヅラミ			○											○	◇	
89	オランダガラシ			○			○					○			○	◇	
90	オランダミミナグサ	○	○				○							○		◇	
91	ガガイモ															◇	
92	カキドオシ																
93	カズノコグサ														○	◇	
94	カスマグサ		○				○								○	◇	
95	カゼクサ															◇	
96	カタバミ												○			◇	○
97	カテンソウ													○		◇	
98	カナビキソウ															◇	
99	カナムグラ				○	○			○				○			◇	○
100	カボチャ															◇	
101	ガマ																
102	カミツレ															◇	
103	カモジグサ														○	◇	
104	カヤツリグサ															◇	○
105	カラクサナズナ															◇	

		2021	2022			2023			2024			2025					
				観察会・梅原		観察会・梅原					観察会・梅原	観察会・梅原		観察会・梅原	自然史博	観察会・梅原	
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	～25	B地区
106	カラスウリ															◇	
107	カラスノ(ヤハズ)エンドウ	○	○	○			○			○				○	○		
108	カラスムギ															◇	
109	カラムシ												○			◇	○
110	カロライナツユクサ															◇	
111	カワヂシャ							○				○			○	◇	
112	カンサイタンポポ	○					○			○				○	○	◇	
113	キキョウソウ			○								○				◇	
114	キクイモ																
115	ギシギシ			○						○						◇	
116	キジムシロ																
117	キシウスズメノヒエ															◇	
118	キシウブ			○								○			○	◇	
119	キツネアザミ										○初					◇	
120	キツネノボタン	○	○				○					○			○		
121	キツネノマゴ																
122	キュウリグサ	○	○							○				○	○	◇	
123	ギョウギシバ															◇	
124	キンエノコロ				○											◇	
125	クグカヤツリ															◇	
126	クコ															◇	
127	クサイ															◇	
128	クサノオウ						○									◇	
129	クサヨシ			○											○	◇	
130	クズ															◇	
131	クスダマツメクサ			○								○			○		
132	クララ			○								○			ツボミ		
133	クルマバザクロソウ															◇	
134	クワクサ															◇	
135	ケイヌビエ																
136	ケキツネノボタン			○										○?		◇	
137	ゲンノショウコ															◇	
138	コオニタビラコ													○	○	◇	
139	ゴキツル					○			○							◇	実
140	コゴメイ																
141	コゴメガヤツリ															◇	
142	コシロネ																
143	コシロノセンダングサ															◇	
144	コスズメガヤ															◇	
145	コセンダングサ				○	○			○				○			◇	○
146	コツブキンエノコロ																○
147	コニシキソウ															◇	
148	コヌカグサ																
149	コハコベ	○					○			○				○		◇	
150	コバノセンダングサ												○			◇	
151	コバンソウ											○					
152	コヒルガオ															◇	
153	コマツヨイグサ			○	○	○	○					○			○	◇	○
154	コミカンソウ															◇	
155	コメツブウマゴヤシ									○							
156	コメツブツメクサ	○?	○?	○								○		○	○	◇	
157	コモチナデシコ																
158	コモチマンネングサ															◇	
159	サトイモ															◇	
160	サナエタデ															◇	

		2021	2022			2023			2024				2025				
				観察会・梅原		観察会・梅原					観察会・梅原	観察会・梅原		観察会・梅原	自然史博	観察会・梅原	
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	～25	B地区
161	サヤヌカゲサ					○											
162	シナサワグルミ			○					○						○	◇	
163	シナダレスズメガヤ			○		実									○	◇	○
164	シマスズメノヒエ															◇	
165	シャクチリソバ					○			○				○			◇	○
166	シャグマハギ			○											○	◇	
167	ジュズダマ								○							◇	実
168	ショカツサイ															◇	
169	シラスゲ															◇	
170	シラホシムグラ			○								○			○	◇	
171	シロザ				○								○			◇	
172	シロツメクサ	○	○	○			○			○		○		○	○	◇	
173	シロノセンダングサ					○									○		○
174	シロバナマンテマ			○								○					
175	スイバ	○	○	○			○			○		○		○	○	◇	
176	スカンタゴボウ																
177	スギナ																
178	ススキ												○				
179	スズメノウリ															◇	
180	スズメノエンドウ	○	○				○			○				○	○	◇	
181	スズメノカタビラ															◇	
182	スズメノテッポウ															◇	
183	スズメノヒエ																
184	スベリヒユ															◇	
185	セイタカアワダチソウ	○				○			○				○			◇	○
186	セイタカヨシ	○							○				○			◇	○
187	セイバンモロコシ				○				○				○			◇	○
188	(セイヨウ)カラシナ	○	○				○					○		○	○	◇	
189	セイヨウタンポポ	○	○				○			○			○	○	○	◇	○
190	セイヨウヒキヨモギ														○	◇	
191	セッカニワゼキショウ							○									
192	ゼニオアイ																
193	セリ															◇	
194	センダン			○								○			○	◇	
195	センダングサ												○				
196	センニチコウ																
197	センニンソウ															◇	
198	ソクズ																
199	タカサブロウ																
200	タガラシ		○				○					○		○	○	◇	
201	ダキバアレチハナガサ															◇	
202	タケニグサ																
203	タコノアシ					実		二ツ池									実
204	タチヌノフグリ	○	○				○			○				○		◇	
205	タチスズメノヒエ															◇	
206	タチヤナギ																
207	タネツケバナ													○		◇	
208	タマガヤツリ															◇	
209	ダンゴツメクサ											○			○	◇	
210	ダンドボロギク															◇	
211	(フシゲ)チガヤ											○				◇	
212	チカラシバ															◇	
213	チチコグサ															◇	
214	チチコグサモドキ																
215	チョウジタデ															◇	

		2021	2022			2023			2024			2025					
				観覧会: 梅原		観覧会: 梅原						観覧会: 梅原	観覧会: 梅原	観覧会: 梅原	自然史博	観覧会: 梅原	
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	～25	B地区
216	ツボミオオバコ		○	○											○		
217	ツボスミレ															◇	
218	ツボミオオバコ															◇	
219	ツユクサ				○											◇	
220	ツルニチニチソウ									○						◇	
221	ツルマメ															◇	
222	ツルマンネングサ			○													
223	ツルヨシ					実			○				○			◇	
224	テリハヤブソテツ															◇	
225	トウバナ															◇	
226	トキワツユクサ																
227	トキワハゼ		○				○					○		○	○	◇	
228	トゲチシャ															◆	
229	トゲナシハリエンジュ															◇	
230	トゲミノキツネノボタン															◇	
231	トウネズミモチ															◇	
232	ナガイモ															◇	
233	ナガバギシギシ			○								○			○	◇	
234	ナガミヒナゲシ		○	○												◇	
235	ナギナタガヤ																
236	ナズナ						○			○				○		◇	
237	ナヨクサフジ	○	○	○			○			○		○		○	○	◇	
238	ナルコスゲ																
239	ナルトサワギク					○											
240	ニガカシュウ															◇	
241	ニシノオオアカウキクサ																
242	ニセアカシア														○		
243	ニラ															◇	
244	ニワゼキショウ			○								○			○	◇	
245	ヌカキビ								○							◇	
246	ヌスビトハギ																
247	ヌルデ																
248	ネザサ															◇	
249	ネジバナ																
250	ネズミホソムギ															◇	
251	ネズミムギ			○											○		
252	ネナシカズラ															◇	
253	ネムノキ															◆	
254	ノアサガオ																
255	ノイバラ			○											○	◇	
256	ノキシノブ															◇	
257	(ハルノ)ノゲシ									○						◇	
258	ノゲヌカスゲ															◇	
259	ノヂシャ	○	○				○			○				○	○	◇	
260	ノハカタカラクサ															◇	
261	ノビル											○			実	◇	
262	ノブドウ															◆	
263	ノボロギク													○		◇	
264	ノミノツヅリ			○						○		○		○	○	◇	
265	ノラニンジン			○								○					
266	ハタケニラ																
267	ハッカ																○
268	ハナカタバミ			○													
269	ハナニラ																
270	ハマクマツヅラ															◇	

		2021	2022			2023			2024				2025				
				観察会：梅原		観察会：梅原					観察会：梅原	観察会：梅原		観察会：梅原	自然史博	観察会：梅原	
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	2024 ～25	B地区
271	ハマスゲ															◇	
272	ハマトメクサ															◇	
273	ハルジオン														○	◇	
274	ヒガンバナ															◇	
275	ヒゲナガスズメノチャヒキ															◇	
276	ヒデリコ															◇	
277	ヒナギキョウ											○				◇	
278	ヒナキキョウソウ														○		
279	ヒナタイノコヅチ																
280	ヒメウキクサ															◇	
281	ヒメウス	○								○						◇	
282	ヒメオドリコソウ	○	○				○			○				○		◇	
283	ヒメコウガイゼキショウ															◇	
284	ヒメコバンソウ															◇	
285	ヒメジョオン			○		○		○				○				◇	○
286	ヒメジソ																
287	ヒメセンナリホオズキ															◇	
288	ヒメブタナ			○													
289	ヒメムカシヨモギ															◇	
290	ヒメリュウキンカ	葉								○				○		◇	
291	ヒルガオ															◇	
292	ヒレタゴボウ															◇	
293	フジノキシノブ															◇	
294	フタバムグラ																
295	フラサバソウ									○				○		◇	
296	ヘクソカズラ																
297	ヘビイチゴ			○											実	◇	
298	ヘラオオバコ	○	○	○			○			○				○		◇	
299	ヘラバヒメジョオン			○				○				○	○				
300	ホウキギク																
301	ホザキノフサモ															◇	
302	ホザキマンテマ																
303	ホシアサガオ				○	○			○				○			◇	実
304	ホソアオゲイトウ												○			◇	
305	ホソイ															◇	
306	ホソバナチチコグサモドキ																
307	ホソミキンガヤツリ															◇	
308	ボタンヅル															◇	
309	ホトケノザ	○					○			○				○		◇	
310	ホナガイヌビユ															◇	
311	ボントクタデ															◇	
312	マコモ															◇	
313	マスクサ															◇	
314	マダケ																
315	マツバウンラン		○				○								○		
316	ママコノシリヌグイ				○	○			○				○			◇	
317	マメアサガオ															◇	
318	マメゲンバイナズナ			○								○			○	◇	
319	マメツブウマゴヤシ						○										
320	マルバアサガオ																
321	マルバアメリカアサガオ				○	○			○				○			◇	
322	マルバツユクサ															◇	
323	マルバ(アカメ)ヤナギ															◇	
324	マルバヤハズソウ					実											

		2021	2022			2023			2024			2025					
				観察会: 梅原		観察会: 梅原					観察会: 梅原	観察会: 梅原		観察会: 梅原	自然史博	観察会: 梅原	
		4/8	4/14	5/21	10/6	10/29	4/13	5/13	10/22	4/11	5/9	5/18	11/9	4/10	5/10	2024	11/15
			B地区	B地区	A一年草	B地区		駒ヶ谷	B地区	A地区	B地区	B地区	B地区	A地区	B地区	2024 ～25	B地区
325	マルバルコウ															◇	
326	マンテマ											○			○	◇	
327	マンテマモドキ																
328	ミズ					○			○				○				○
329	ミゾコウジュ																
330	ミゾソバ					○			○				○			◇	○
331	ミチタネツケバナ	○	○				○							○		◇	
332	ミツバアケビ															◇	
333	ミドリハコベ															◇	
334	ムクノキ															◇	
335	ムシクサ															◇	
336	ムシトリナデシコ			○								○			○		
337	ムラサキエノコロ				○												
338	ムラサキケマン									○				○		◇	
339	メキシコマンネングサ											○					
340	メドハギ				○											◇	
341	メハジキ																
342	メヒシバ				○											◇	
343	メマツヨイグサ				○											◇	○
344	メリケンガヤツリ															◇	
345	メリケントキンソウ															◇	
346	メリケンムグラ					○			○				○				実
347	メロン															◇	
348	ヤエムグラ									○						◇	
349	ヤナギタデ					○			○				○			◇	○
350	ヤナギハナガサ					○										◇	
351	ヤナギバヒメジョオン															◇	
352	ヤハズエンドウ															◇	
353	ヤハズソウ															◇	
354	ヤブガラシ															◇	
355	ヤブカンゾウ															◇	
356	ヤブジラミ															◇	
357	ヤブタビラコ	○														◇	
358	ヤブマオ															◇	
359	ヤブラン															◇	
360	ヤマグワ															◇	
361	ヤマネコノメソウ													○		◇	
362	ヤワラスゲ															◇	
363	(アカバナ)ユウゲシヨウ			○											○		
364	ユキヤナギ																
365	ヨシ															◇	
366	ヨメナ															◇	
367	ヨモギ				○								○			◇	○
368	レンゲ																
369	ワルナスビ															◇	

●野 鳥

		2014				2015				2016				2017				2018		2019	2020	2021	2022	2023		2024	2025			
		2/1	7/17	8/21	10/23	1/29	3/14	3/25	4/9	5/28	6/25	10/8	2/4	2/18	2/27	4/14	10/13	2/25	10/25～	12/2	1/11	2/17	2/23	5/18	2/13	2/5	4/16	2/23	2/10	2/23
		野鳥観察会					野鳥観察会							野鳥観察会				野鳥観察会		まめバト		野鳥観察会		野鳥観察会	野鳥観察会		野鳥観察会	野鳥観察会		
1	アオサギ	○	○	○	○	○	○				○		○								○			○		○	○			
2	アオジ	○				○	○	○					○	○	○		○			○	○	○声		○	○		○	○		
3	アマサギ																						田んぼ							
4	イカルチドリ												○?				○					○		○	○		○	○	○	
5	イソシギ	○					○							○			○		○			○			○	○		○	○	
6	イソヒヨドリ																○											○		
7	イワツバメ											○多									○				○		○	○	○	
8	ウグイス							○声	○声	○声			○声		○声								声					○	○	
9	オオタカ																												○	
10	オオバン							○																	○	○		○	○	○
11	オオヨシキリ									○	○声													○						
12	オカヨシガモ																												○	
13	オナガガモ						○																						○	
14	カイツブリ	○		○	○		○										○					○				○		○	○	○
15	カシラダカ						○	○						○											○	○		○	○	○
16	カルガモ		○	○	○		○	○		○				○	○		○		○		○			○	○			○	○	○
17	カワウ	○	○		○		○							○			○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○
18	カワセミ	○		○	○	○梅川	○				○			○			○		○		○			○		○		○		
19	カワラヒワ	○				○	○	○		○				○		△			○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
20	カンムリカイツブリ																												○	
21	キジ							♂3羽	○声															声						
22	キジバト					○	○	○			○			○		△			○			○		○	○		○			○
23	キセキレイ																												○	
24	クサシギ																					○						○	○	
25	ケリ				○											△	○													
26	コウノトリ																	○	○											
27	コガモ	○					○																							
28	コゲラ															○声														
29	コサギ	○					○	○	○					○			○					○	○	○		○				○
30	コシアカツバメ										○																			
31	コチドリ																													
32	コミミズク																									片翼				
33	シジュウカラ													○			○			○	○	○							○	○
34	シメ					○		○7羽																						
35	ジョウビタキ													○	○										○			(声)		
36	シロハラ					○							○	○											○			○		
37	スズメ	○				○	○	○		○	○		○	○		○	○		○			○	○		○	○		○	○	○
38	セグロカモメ						○																			○				
39	セグロセキレイ	○					○									△	○		○			○	○		○			○	○	○
40	セッカ									○						○声														
41	ダイサギ	○	○	○	○	○	○				○			○	○							○	○			○		○	○	○
42	タヒバリ	○																											○	
43	チョウゲンボウ												○♀	○					○			○			○	○			○	○
44	ツグミ					○多数	○	○多数					○	○	○		○					○	○			○		○		○
45	ツバメ						○	○		○	○					○	○								○			○	○	○
46	ドバト						○	○							○							○	○		○	○		○	○	○
47	トビ																								○			○	○	
48	ノスリ																				○	○				○		○		
49	ハイタカ																			○	○				○			○	○	
50	ハクセキレイ	○			○	○	○	○		○	○			○	○		○	○		○	○	○	○		○	○		○	○	○

大黒集落の空き地
親2、ヒナ2

		2014				2015						2016					2017			2018		2019	2020	2021	2022		2023	2024	2025	
		2/1	7/17	8/21	10/23	1/29	3/14	3/25	4/9	5/28	6/25	10/8	2/4	2/18	2/27	4/14	10/13	2/25	10/25～	12/2	1/11	2/17	2/23	5/18	2/13	2/5	4/16	2/23	2/10	2/23
		野鳥観察会					野鳥観察会								野鳥観察会			野鳥観察会		まめバト			野鳥観察会		野鳥観察会	野鳥観察会		野鳥観察会	野鳥観察会	野鳥観察会
51	ハシブトガラス	○					○	○				○			○			○				○	○		○	○		○	○	○
52	ハシボソガラス						○	○			○				○			○		○		○	○		○	○		○	○	○
56	ハマシギ?								○																					
57	ハヤブサ																		○		○									
58	バン	○			○																									
59	ヒドリガモ							○											○		○	○						○	○	
60	ヒバリ	○			○		○	○			○		○	○	○	○	○				○	○	○		○		○		○	
61	ヒメアマツバメ																												○	
62	ヒヨドリ					○多数	○	○			○			○	○	○	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○
63	ビンズイ	○																												
64	ホオジロ	○				○									○			○				○			○					○
65	ホシハジロ						○																							
66	マガモ				○		○																							
67	ミサゴ	○																							○					
68	ムクドリ	○				○	○	○		○	○			○	○	○		○		○			○	○		○		○		○
69	メジロ														○			○				○	○		○	○		○		○
70	メボソムシクイ													○								○								
71	モズ				○	○	○	○				○		○	○		○	○		○		○	○		○	○		○	○	○
72	ヤマシギ																△園外の水田										(羽根)		羽根	
73	ユリカモメ																												○	

●カヤネズミ（営巢）

	場所	利用した草	緑	枯	くずれ	小計	合計	備考
2011年								
2011/11/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ オギ			1 6	7	下流側の丘a 上流側の丘b
2012年								
2012/12/1	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ オギ			1 1	2	下流側の丘a 上流側の丘b
2013年								
		新大黒橋 上流右岸	セイバンモロコシ			1	1	
		パークゴルフ場横	セイトカヨシ			1	1	
2013/11/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ オギ			2 5	7	下流側の丘a 上流側の丘b
			計	0	0	0	9	9
2014年								
		駒ヶ谷 修景池大	ガマ			2	2	
2014/8月		星の広場	オギ、エノコログサ	1		1	1	
2014/8/25		飛鳥川 太子中央橋	不明		1	1	1	今年春の営巢分？
2014/10/23	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ オギ	2 1	1 6	2 1	5 8	13 下流側の丘a 上流側の丘b
2014/11/14		パークゴルフ場横	セイトカヨシ	1		1	1	
			計	5	8	3	18	18
2015年								
2015/1/29	B地区	剣先広場	オギ		1	1	1	剣先広場の本流側
2015/5/28	C地区		オギ	1		1	1	ミゾコウジュ自生地
2015/6/11	A地区	はびきの大橋 右岸	オギ+α	1		1	1	上流側の丘b
2015夏		パークゴルフ場本流側	？			1	1	
2015/7/9	A地区	はびきの大橋 右岸	オギ	1		1	1	上流側の丘b
2015/8/7		桜堤駐車場周辺	セイバンモロコシ？	1		1	1	堤防法面、子ども2匹
2015/9/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ セイバンモロコシ オギ セイトカヨシ	5 1 1 2	10	3 1 1 2	18 22	上流側の丘b 上流側の丘b 下流側の丘a 下流側の丘A
2015/9月		パークゴルフ場本流側	セイバンモロコシ	1		1	1	
2015/10/8	A地区		セイトカヨシ		1	1	1	園路沿い
2015/10月		玉手橋左岸	セイバンモロコシ	1		1	1	橋の下、子ども
2015/10/27	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ オギ	1 1	2 7	3 8	11	下流側の丘a 上流側の丘b
2015/12月		新大黒橋 下流左岸	セイバンモロコシ？		1	1	1	
			計	17	22	3	43	43

	場所	利用した草	緑	枯	くずれ	小計	合計	備考
2016年								
2016/3月		パークゴルフ場内	オギ	3		3	3	ツツジ植込み内
2016/7/14	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2		2	4	上流側の丘b
		オギ、セイバンモロコシ			2	2		オギ移植地、葉の裂きあと2ヶ所
2016/7/28		パークゴルフ場内	オギ	1		1	1	
2016/10/20	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	3	1	4	4	上流側の丘b
2016/11/3	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	4	1	5	5	上流側の丘b
2016/11/5		星の広場 下流左岸	セイタカヨシ	1		1	2	
		セイバンモロコシ	1			1		
2016/11/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	3	2	2	7	上流側の丘b
2016/12/1		パークゴルフ場内	オギ		1	1	1	
2016/12/1	B地区	剣先広場	オギ		1	1	1	剣先広場まわりのオギ原
2016/12/1	A地区		オギ		1	1	1	イノシシ柵横のオギ原
2016/12/4		パークゴルフ場本流側	オギ		2	2	4	
		計	14	11	8	33	33	
2017年								
2017/1/12	A地区	かくし護岸	セイバンモロコシ	2		2	2	
2017/3/23		パークゴルフ場本流側	オギ?	1		1	1	生け垣から出ているオギ?の葉
2017/4/13	A地区	園路沿い	セイタカヨシ	1		1	1	
2017/6/22	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1		1	1	上流側の丘b
2017/7/13	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2		2	2	上流側の丘b
2017/7/13		西名阪右岸 下流側水路	セイタカヨシ	1		1	1	
2017/8/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2	1	3	3	上流側の丘b
2017/9/14	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2	4	6	6	上流側の丘b
2017/10/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1	1	2	7	下流側の丘a
		オギ		5		5		上流側の丘b
2017/12/14	A地区		セイタカヨシ	1		1	1	園路沿い樹木の下
		計	6	17	2	25	25	
2018年								
2018/6/8	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ	3	1	5	5	本流側のオギ移植地
2018/6/14	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1		1	1	上流側の丘b
2018/6/21	A地区	園路の上流終点	オギ	1	1	2	2	府大調査区9
2018/7/19	A地区	園路沿い	オギ		1	1	1	府大調査区8
2018/10/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	7	1	9	9	上流側の丘b
2018/10月		パークゴルフ場内	?	1		1	1	コース横の植え込み
2018/11/1	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ	3	1	4	7	道路側のオギ移植地
		オギ		3		3		本流側のオギ移植地
2018/11/15	A地区	園路の上流終点	オギ	2	3	5	5	府大調査区9
2018/11/30	A地区	園路沿い	オギ		2	2	2	府大調査区8
2018/12/17		パークゴルフ場本流側	オギ		1	1	1	
		計	17	13	3	31	31	

	場所	利用した草	緑	枯	くずれ	小計	合計	備考
2019年								
2019/7/4	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	12	0	3	15	15 上流側の丘b
2019/7/25	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	0	0	2	2	2 下流側の丘a
2019/10/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	0	2	1	3	3 上流側の丘b
2019/11/14	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		1		1	2 道路側のオギ移植地
			オギ		1		1	2 本流側のオギ移植地
2019/11/21		パークゴルフ場本流側	オギ	1			1	1
2019/12/19	B地区	河南橋右岸(本流側)	?			1	1	1 藤原先生の調査
2019/12/22	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		3		3	3 本流側のオギ移植地
			計	13	7	7	27	27
2020年								
2020/6/18	B地区	人エ Wand 周辺	アゼナルコ	1			1	5
			キショウブ		1		1	
			ネズミムギ		1		1	
			オギ		2		2	散策ルート沿い
2020/7/20	B地区	人エ Wand 周辺	オギ		1		1	1 散策ルート沿い
2020/10/15	B地区	剣先広場	オギ	5	2	1	8	8 円形草地の中のチガヤ群落まわり
2020/10/15	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ	2		5	7	7 道路側、本流側1つずつ
2020/10/15	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	3	2		5	5 上流側の丘b
2020/10/26	B地区	人エ Wand 周辺	アゼナルコ	1			1	1 タコノアシ湿地の入口
2020/11/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1	2	1	4	4 上流側の丘b
2020/12/2		パークゴルフ場	チガヤ		1		1	1 休憩所横の植込み
			計	13	12	7	32	32
2021年								
2021/5/29	B地区	園路沿い	オギ	1			1	1
2021/6/23	D地区	園路沿い	オギ		1		1	1 萩原神社オギ刈り取り時
2021/8/16	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2		1	3	5 上流側の丘b
			オギ	2			2	5 下流側の丘a
2021/9/13	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		3		3	3 本流側
2021/10/14	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1	4		5	5 下流側の丘a
2021/11/15	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		7		7	7 上流側の丘b
2021/11/15	B地区	剣先広場	オギ		4		4	4 円形草地の周囲のオギ草地
2021/11/15	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ			1	1	1 道路側
2021/11/25	駒ヶ谷	パークゴルフ場入口	-	-	-	-	-	- 子ども1個体(生体)
2022/1/13	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		1		1	1 上流側の丘b
			計	6	20	2	28	28

	場所	利用した草	緑	枯	くずれ	小計	合計	備考
2022年								
2022/5/19	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2	1	3	3	下流側の丘a
2022/5/30	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ	1		1	1	
2022/6/13	駒ヶ谷	多目的広場本流側	オギ	1	3	4	4	堤防下のオギ原
2022/7/14	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	2	22	1	25	上流側の丘b
			オギ	うち結び目1	1	8	9	下流側の丘a
			オギ		1	1	3	丘f
			オギ		1	2	3	丘e
2022/10/6	花回廊	パーゴラ周辺	セイバンモロコシ	1		1	1	
2022/10/13	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	3	2	1	6	上流側の丘b
			オギ	2	1	3	11	下流側の丘a
			オギ	2		2		丘f
2022/11/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		12		12	上流側の丘b
			オギ		4		4	下流側の丘a
			オギ		4		4	丘f
2022/11/10	B地区	剣先広場	オギ		10	3	13	円形草地の中
			オギ		5	2	7	円形草地の周囲のオギ草地
2022/11/10	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		1		1	本流側
			計	16	71	14	101	101
2023年								
2023/6/8	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		2		2	丘f
			オギ	1		1	7	丘e
			オギ	2	2	4		上流側の丘b
2023/6/22	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ	4		4	13	上流側 (廣國神社刈り取り)
			オギ	3	3	3	9	下流側 (萩原神社刈り取り)
2023/6/22	芝生広場	千早川合流部 右岸	オギ			2	2	(一須賀神社刈り取り)
2023/9/25	D地区	神社用オギ移植地	オギ		1		1	
2023/10/12	D地区	神社用オギ移植地	オギ		1		1	
2023/10/30	駒ヶ谷	パークゴルフ場(コース内)	チガヤ	1			1	巢内に子ども5頭確認
2023/11/9	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		12	5	17	上流側の丘b
			オギ	2	6		8	下流側の丘a
			オギ		7	3	10	丘f
			オギ		1		1	丘e
2023/11/14	花回廊		チガヤ?		1		1	フジバカマ花壇の中
2023/11/29	B地区	剣先広場	オギ		1	2	3	円形草地の中
			オギ		3	1	4	円形草地の周囲のオギ草地
2023/12月	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ		6		6	ハンマーモア除草時に確認
2023/12/14	B地区	タコノアシ湿地	オギ?		1		1	
2024/2/8	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		1		1	本流側
			計	13	48	16	77	77

2024年									
2024/6/6	歴史の里	園路沿いの草地	セイバンモロコシ	2			2	2	
2024/6/24	歴史の里	園路沿いのオギ草地	オギ	1			1	1	道明寺八幡宮オギ刈取り
2024/7/18	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	3	2		5	20	丘f
			オギ	7	4	4	15		上流側の丘b
2024/9/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ		10	3	13	13	上流側の丘b
2024/11/14	D地区	神社用オギ移植地	オギ	2			2	2	
2024/12/12	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1	24	3	28	38	上流側の丘b
			オギ		6	3	9		下流側の丘a
			オギ			1	1		丘f
			-				0		丘e
2024/12/12	B地区	喜志大橋 右岸広場	オギ		1		1	1	
			オギ		2		2	2	本流側
2024/12/16	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ		1		1	1	
2024/12/25	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ		2		2	2	
			計	16	52	14	82	82	
2025年									
2025/6/24	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ	8	2	3	13	13	
2025/7/10	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	5	10	5	20	30	上流側の丘b
			オギ	2	1	4	7		下流側の丘a
			オギ		3		3		丘f
			-				0		丘e
2025/7/10	B地区	喜志大橋 右岸広場(保護草地)	オギ	1	3	1	5	5	
2025/7/10	B地区	剣先広場(保護草地)	オギ	2		1	3	3	新規観察路沿い
2025/12/11	A地区	はびきの大橋右岸(保護草地)	オギ	1	3		4	7	上流側の丘b
			オギ		2	1	3		下流側の丘a
			-				0		丘f
			-				0		丘e
2025/12/11	B地区	剣先広場(保護草地)	オギ	1	5	3	9	18	新規観察路沿い
			オギ	2	6	1	9		円形園路の駐車場側
2025/12/18	B地区	喜志大橋 右岸広場(保護草地)	オギ		1		1	1	
2025/12/18	駒ヶ谷	パークゴルフ場本流側	オギ			1	1	1	
			計	22	36	20	78	78	

4. マニュアル更新記録

- 1) 発行年月
 - 2) 収録資料（各年次のマニュアルのみに収録されている資料）
 - 3) 備考（各年次の変更・修正・追加項目など）
-

●平成29（2017）年度版

- 1) 発行年月 平成30（2018）年3月
- 2) 収録資料
 - ・モニタリングサイト1000調査結果（カヤネズミ）
 - ・ミゾコウジュ自生地環境変化 2000～2017
 - ・ミゾコウジュ保護活動の取組み経過 2000～2017
 - ・オギ原再生の参考事例（猪名川）
- 3) 備考 初版／専門部会による検討

●平成30（2018）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和元（2019）年6月
- 2) 収録資料
 - ・自然ゾーンBわんど調査及び自然ゾーンDミニ石川調査
 - ・台風21号による出水状況（A地区）2017/10/25
 - ・自然ゾーンA地区上空写真（2017/5/26、11/6 ドローン撮影）
 - ・カヤネズミの営巣環境の整備に関する研究（大阪府大）
- 3) 備考 生き物の表紙デザイン
追加項目：「はじめに」「管理・整備の課題箇所」「マニュアル更新記録」

●令和元（2019）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和2（2020）年6月
- 2) 収録資料
 - ・準絶滅危惧種「タコノアシ」の再発見
 - ・石川河川公園自然ゾーン現地調査（A地区植生断面図、自然観察マップ）
 - ・河川敷におけるセイバンモロコシの駆除方法に関する研究（大阪府大）
- 3) 備考 表紙デザインに「タコノアシ」を追加
追加項目：「カヤネズミ営巣の経年変化」「自然ゾーンの関連活動 2012～」

●令和2（2020）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和3（2021）年6月
- 2) 収録資料
 - ・石川河川公園自然ゾーン現地調査（植物リスト）
 - ・中小企業団地の空き地でミゾコウジュを発見（2020/12/27）
 - ・「大和川水系におけるカワヂシャと外来植物オオカワヂシャおよび雑種の分布」2008
志賀隆・大阪市立自然史博物館大和川水系調査グループ水生植物班
- 3) 備考 目次構成を希少種ごとに変更
I 管理マニュアル、II 今後の整備・管理の方向性
→ I 希少種の生息・生育地の管理（カヤネズミ・ミゾコウジュ・タコノアシ）

●令和3（2021）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和4（2022）年6月
- 2) 収録資料
 - ・石川河川公園自然ゾーン現地調査（カワヂシャ）
 - ・外来植物駆除における市民参加促進方策としての食駆除（大阪府立大学）
- 3) 備考 前年度版からの変更箇所・項目を赤字表記
その他の整備
 - ・自然観察路とサイン設置（自然ゾーンB地区）
 - ・大木伐採と非舗装園路の整備（自然ゾーンA、B地区）
 - ・神社と連携したオギ草地づくり（自然ゾーンD地区）カヤネズミ営巣記録を生きものの記録に追加

●令和4（2022）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和5（2023）年3月：協議会→プラットフォーム改編のため年度末3月に発行
- 2) 収録資料 ・石川河川公園自然ゾーン植生及び植物相調査委託 2003/H15
- 3) 備考 追加・修正項目 ・冊子名称を「自然環境保全・活用マニュアル」に変更
・希少種の生息・生育地の管理「カワヂシャ」
・自動撮影カメラの設置
・協議会の改編、プラットフォームの提案

●令和5（2023）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和6（2024）年6月
- 2) 収録資料 ・西浦東小学校 出前授業（2024/5/22） スライド資料
- 3) 備考 追加・修正項目 ・B地区におけるオギ草地のクズ抑制
・石川河川公園自然ゾーン計画・運営プラットフォーム会則
・オギ提供先の神社、茅の輪づくり

●令和6（2024）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和7（2025）年6月
- 2) 収録資料 ・NatureStudy 大和川水系石川の原野の植物：タコノアシとミゾコウジュ
・展示紹介パネル（マニュアル、プラットフォーム、サポーター登録団体）
- 3) 備考 前年度版からの変更箇所・項目を青字表記
追加・修正項目 ・観察路整備によるオギ草地の環境改善（B地区）
・自然ゾーン年間作業 基本スケジュール
・石川自然クラブ（経緯、活動）

●令和7（2025）年度 更新版

- 1) 発行年月 令和8（2026）年6月
- 2) 収録資料 ・新都市「大阪府営公園におけるネイチャーポジティブの取組
・自然共生サイト 認定申請書一式 <添付CDにデータ収録>
- 3) 備考 追加・修正項目 ・石川の植物見本園の整備（修景池）
・自然共生サイト